



## 町田市における東京 2020 大会報告書



# 目次

1. 東京2020オリンピック・パラリンピック 大会概要	1
2. 東京2020オリンピック聖火リレー	5
3. 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース	9
4. 東京2020パラリンピック聖火リレー	15
5. 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ	17
6. ボランティア	25
7. 気運醸成	31
8. さまざまな情報発信	37
9. ホストタウン	39
10. レガシー事業について	45
11. 大会組織委員会にて従事した職員を紹介します	47

TOKYO 2020 OLYMPIC

Hope Lights Ou

希望の道を、つなごう。



OLYMPIC TORCH RELAY  
TOKYO 2020



# TORCH RELAY

Way



# 1 東京2020オリンピック・パラリンピック 大会概要

東京1964大会から半世紀を経て、再び東京でオリンピック・パラリンピックが開催されました。新型コロナウイルスの世界的流行という未曾有の事態の中での開催でしたが、日本中、そして世界中に、興奮と感動を呼び起こす大会となりました。

## 開催概要

### ■オリンピック

正式名称	第32回オリンピック競技大会（2020／東京）
開催期間	2021年7月23日（金）～8月8日（日）
競技数	33競技・339種目
参加団体	206団体（205の国及び地域＋難民選手団）
参加アスリート	11,259名
世界新記録	6競技20種目で世界新記録を達成
本大会で採用された新競技	空手、スケートボード、スポーツクライミング、サーフィン
配信コンテンツ量	33競技で9,500時間以上
開会式視聴率（NHK）	56.4%（リオ大会 23.6%）
ボランティア	51,672人（パラリンピック期間も活動した5,216人を含む）

**!!CHECK!!**  
自転車競技ロードレースでは、町田市内が競技会場に！

### 国別メダルランキング

1位	アメリカ	113	(金39、銀41、銅33)
2位	中国	88	(金38、銀32、銅18)
3位	日本	58	(金27、銀14、銅17)



### ■パラリンピック

正式名称	東京2020パラリンピック競技大会
開催期間	2021年8月24日（火）～9月5日（日）
競技数	22競技・539種目
参加団体	163団体（162の国及び地域＋難民選手団）
参加アスリート	4,403名（過去最多）
世界新記録	6競技153種目で世界新記録を達成
本大会で採用された新競技	バドミントン、テコンドー
配信コンテンツ量	22競技で1,200時間以上
開会式視聴率（NHK）	23.8%（リオ大会 7.8%）
ボランティア	24,514人（オリンピック期間も活動した5,216人を含む）

**!!CHECK!!**  
インドネシアパラバドミントンチームが町田市内で事前キャンプを実施！

### 国別メダルランキング

1位	中国	207	(金96、銀60、銅51)
2位	イギリス	124	(金41、銀38、銅45)
3位	アメリカ	104	(金37、銀36、銅31)
:			
11位	日本	51	(金13、銀15、銅23)



## ■大会ビジョン

スポーツには  
世界と未来を変える力がある

1964年の東京大会は日本を大きく変えた。  
東京2020大会は、  
「すべての人が自己ベストを目指し（全員が自己ベスト）」  
「一人ひとりが互いを認め合い（多様性と調和）」  
「そして、未来につなげよう（未来への継承）」を  
3つの基本コンセプトとし、史上最もイノベーティブで、  
世界にポジティブな改革をもたらす大会とする。

## ■大会エンブレム

組市松紋（くみいちまつもん）

歴史的に世界中で愛され、日本では江戸時代に「市松模様（いちまつもよう）」として広まったチェッカーデザインを、日本の伝統色である藍色で、粋な日本らしさを描いています。

形の異なる3種類の四角形を組み合わせ、国や文化・思想などの違いを示します。違いはあってもそれらを超えてつながり合うデザインに、「多様性と調和」のメッセージを込め、オリンピック・パラリンピックが多様性を認め合い、つながる世界を目指す場であることを表しました。



TOKYO 2020



オリンピックエンブレム



TOKYO 2020  
PARALYMPIC GAMES



パラリンピックエンブレム

## ■大会マスコット



東京2020オリンピックマスコット  
ミライトワ

ミライトワという名前は、「未来」と「永遠（とわ）」というふたつの言葉を結びつけて生まれました。名前に込められたのは、素晴らしい未来を永遠にという願い。東京2020大会を通じて、世界の人々の心に、希望に満ちた未来をいつまでも輝かせます。



東京2020パラリンピックマスコット  
ソメイティ

ソメイティという名前は、桜を代表する「ソメイヨシノ」と非常に力強いという意味の「so mighty」から生まれました。桜の触角を持ち、驚きの強さを見せるソメイティ。東京2020大会を通じて、桜を愛でる日本の心とパラリンピックアスリートの素晴らしさを印象づけます。

**“CHECK**  
大会史上初となる小学生の投票で決まりました。投票には町田市内の全公立小学校などを含めて16,769の小学校が参加しました。



子どもセンターばあんにて

## 開催までの経緯

- ・ 2013年 9 月 7 日 東京2020大会開催決定
- ・ 2016年 4 月25日 エンブレム決定（野老朝雄氏デザイン）
- ・ 2019年10月16日 【オリ】 マラソン・競歩 札幌開催に変更
- ・ 2019年11月30日 新国立競技場 完成
- ・ 2020年 3 月20日 【オリ】 聖火 宮城県東松島市の航空自衛隊松島基地に到着
- ・ 2020年 3 月24日 東京2020大会の延期を決定
- ・ 2021年 3 月20日 海外からの観客は受け入れないことを決定
- ・ 2021年 3 月25日 【オリ】 聖火リレースタート
- ・ 2021年 7 月 8 日 【オリ】 東京・神奈川・千葉・埼玉会場の無観客が決定
- ・ 2021年 7 月23日 東京2020オリンピック開会式
- ・ 2021年 8 月 8 日 東京2020オリンピック閉会式
- ・ 2021年 8 月12日 【パラ】 聖火リレー（聖火フェスティバル含む）スタート
- ・ 2021年 8 月16日 【パラ】 東京・神奈川・千葉・埼玉・静岡会場の無観客が決定
- ・ 2021年 8 月24日 東京2020パラリンピック開会式
- ・ 2021年 9 月 5 日 東京2020パラリンピック閉会式

### コラム

### 大会にまつわるキーワード

#### ◎復興オリンピック・パラリンピック

2011年に始まった東京2020大会招致活動では、スポーツの力が東日本大震災の被災地に夢と希望をもたらすことを訴えました。また、東京2020大会の開催決定後、熊本県等を大震災が襲い、甚大な被害がもたらされました。東京2020大会では、スポーツの力で元気と感動を届けるため、被災地にてサッカーと野球・ソフトボールを開催しました。

#### ◎2回目のパラリンピック

東京は、世界で初めて2回目の夏季パラリンピックを開催した都市であり、東京2020大会は、多様な人々が活躍しやすい社会を実現するための契機となる大会になりました。パラリンピックは、すべての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合う共生社会の実現にむけて、社会のあり方を大きく変える力があります。

#### ◎持続可能性

東京2020大会は、「Be better, together／より良い未来へ、ともに進もう。」をコンセプトとし、持続可能な社会の実現に向け、課題解決のモデルを国内外に示しました。また、地球及び人間の未来を見据え、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」に貢献するとともに、将来の大会や国内外に広く継承されるよう取り組みました。

**”CHECK**

**都市鉱山からつくる！  
みんなのメダルプロジェクト**  
東京2020大会のメダルは、回収した使用済み携帯電話等の小型家電から金属を集めて制作され、金銀銅メダル約5,000個に使用されました！

## 町田市ゆかりのオリンピック・パラリンピアン

東京2020大会において、町田市ゆかりのアスリートの活躍が光りました。東京2020大会における結果は以下のとおりです。

### オリンピック

#### 大迫 傑

金井中学校出身

陸上

男子マラソン 6位入賞

タイム 2時間10分41秒



#### 畠田 瞳

南成瀬中学校出身

体操

女子団体総合

5位入賞

予選

跳馬 12.266

段違い平行棒 14.133

平均台 13.000

床運動 13.333



写真提供：アミューズ

#### 青山 修子

藤の台小学校出身

テニス

女子ダブルス出場

青山修子／柴原瑛菜 1－2

ベリンダ・ベンチッチ／ビクトリヤ・ゴルビッチ

4－6 7－6 (5) [5－10]



©Hiroshi Sato

団体決勝

段違い平行棒 14.100

平均台 13.333

床運動 12.800

### パラリンピック

#### 水田 光夏

桜美林大学出身

射撃

男女混合

エアライフル

伏射 出場

得点 628.6

アベレージ 104.3

順位 32位



#### 寺西 一

FP(フィールドプレイヤー)

町田市在住

#### 佐藤 大介

GK(ゴールキーパー)

成瀬高校出身



©JBFA

5人制サッカー (ブラインドサッカー) 5位入賞

予選リーグ

日本 4－0 フランス

日本 0－4 ブラジル

日本 0－2 中国



©JBFA

5位・6位決定戦

日本 1－0 スペイン

## 2 東京2020オリンピック聖火リレー



東京都内オリンピック聖火リレー初日の2021年7月9日、聖火が町田市にやってきました。新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら公道での走行は中止となりましたが、世田谷区、狛江市、稲城市、町田市を走行予定だった聖火ランナーが町田シバヒロに集まり、点火セレモニーを行いました。写真は町田市のランナー33名のトーチキスの様子です。それぞれの想いを込めてつないだ聖火は、最終ランナーの鹿沼由理恵さんの手によって、聖火皿に点火され、東京2020オリンピックの成功を願いました。



## 開催概要

### (1) オリンピック聖火リレーとは

オリンピック聖火リレーとは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎を、ギリシャ国内と開催国内でリレーによって開会式までつなげるものです。

東京2020オリンピック聖火リレーは、「Hope Lights Our Way/希望の道を、つなごう。」のコンセプトのもと、2021年3月25日に福島県を出発し、以降、日本全国47都道府県を回る全国参加型リレーで実施しました。移動日を含む121日間を通じて、喜びや情熱をつなげました。

### (2) 東京2020オリンピック聖火リレー経緯

- ・ 2020年3月12日 ギリシャ・オリンピアにてオリンピック聖火を採火
- ・ 2020年3月20日 オリンピック聖火 宮城県東松島市の航空自衛隊松島基地に到着
- ・ 2020年3月24日 大会延期に伴うオリンピック聖火リレーの延期発表
- ・ 2021年3月25日 新型コロナウイルス対策を講じてオリンピック聖火リレーが福島県をスタート
- ・ 2021年6月29日 島しょ部を除き都内の公道走行をとりやめ、点火セレモニーを実施することを発表
- ・ 2021年7月9日 都内オリンピック聖火リレー開始
- ・ 2021年7月23日 東京2020オリンピック開会式

## コラム

### 東京2020オリンピック聖火リレーの町田市内ルートについて

当初予定されていた町田市内のルートは全長約6 km。

2020年4月に町田市の新たな観光スポットとしてオープンした「町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート」を最初のランナーが17：43に出発。古くからの交通の要衝である鎌倉街道を辿り、多くの人々で賑わう町田駅前通りや原町田大通りを抜け、町田街道へ。最終ランナーは、19：00ごろ夕闇迫る町田シバヒロに到着。3000名近い来場者が見守る中、聖火皿に東京都初日の聖火を灯す予定でした。

残念ながら公道での走行は実現しませんでした。町田市の新旧さまざまな魅力が発信される聖火リレーとなる予定でした。



市内聖火リレールート (イメージ)



## 大役を終えた聖火ランナーに感想を聞いてみました！

### 富高日向子さん



**Q**セレモニーに参加されて今の気持ちは？

**A**今回このような貴重な経験をさせていただいてとても光栄に思っています。トップバッターで緊張はしたんですけど、楽しんでできたかなって思います。

**Q**トーチを握ってみて実際にどうでしたか？

**A**実際に持ってみると、自分が想像していた以上に重くてすごくてとても驚きました。

**Q**火が灯った瞬間はいかがでしたか？

**A**とても感動しました。

**Q**他のランナーの人とお話しはされましたか？

**A**聖火をやる前はみんな緊張しますねという話をしながら、楽しみましょうという感じで話しながら待機していました。

**Q**終わった後どうでしたか？

**A**終わってみて、実際やってみたら本当に一瞬だったんですけど、すごい貴重な場に立たせてもらえて嬉しい気持ちでいっぱいでした。

**Q**町田の聖火に携われてどうでしたか？

**A**町田市に聖火リレーが来るということで、町田市在住として今回選んでいただいたんですが、選んでいただいたことをとても光栄に思います。

### 鹿沼由理恵さん

(2016年リオデジャネイロパラリンピック自転車ロードタイムトライアル銀メダリスト)



**Q**本日を終わられての感想は？

**A**全国を回ってきたこの聖火が、東京に入って今日初日、聖火を点火できたことにすごく改めて感動したとともに、この灯火が選手の手になってくれればいいなと思います。

**Q**パラリンピアンとして参加されて聖火とはどんな存在だったのでしょうか？

**A**私たちはバンクーバー、リオ、異国の地で戦っていたにもかかわらず、聖火を見ることによって、勇気をもらえた灯火でした。

**Q**東京を目指されていて今回は応援する側にまわるということですが、どんなお気持ちで今回の大会を見守りたいですか？

**A**私がこの町田にリオからメダルも持って来れたのも、私が緊張している中でも100パーセント以上の力を出させてくれたのは応援の力だと思っています。なので、東京に出る選手、今回は無観客となってしまいましたけど、この灯火そして皆さんの心も応援が選手の100パーセント以上に力につながればいいなと思って、私も応援を続けていきたいと思っています。

**Q**次回を目指されるとのことですが、今回の大会をどういうお気持ちでご覧になりますか？

**A**選手としては1年プラスされた年、そしていろんな気持ち、不安な気持ちももちろんある中で選手は一生懸命戦うと思います。一生懸命戦うことによって、私も力をいただいてまた新たな挑戦につなげていきたいと思っています。

**Q**鹿沼さんにとってもゆかりのある町田でこういうイベントに参加された率直な感想は？

**A**私が今まで選手として、良い成績、悪い成績であったにもかかわらず、この町田に帰ってくることによって新たな気持ちになれたその町田で、選手への応援のメッセージとしての灯火を灯せたことは、一番今回私にとって大きいと思っています。

**Q**新たな挑戦とは具体的にどんなことですか？

**A**リオの大会後、私自身左腕を切断して、他の競技のことも考えたんですが、やはり自転車でもう一度大会に出て、今まで応援してくださった方に恩返しできればいいなと思っています。

**平賀煌土さん**



**Q**今日参加してみていかがでしたか？

**A**一生に一度できるかできないかの体験なので、嬉しかったです。

**Q**トーチに炎が灯った時、どうでしたか？

**A**炎の重みが感じられて感動しました。

**Q**東京オリンピック、平賀くんにとってどんなオリンピックになってほしいですか？

**A**本当は会場に行って応援するつもりだったんですけど、できなくなってしまったので家で応援したいです。

**Q**地元町田に聖火が来て、聖火リレーに参加できたこと、どう感じましたか？

**A**町田に住んでいるので聖火が来た時に、ついに町田にも来たんだと感じました。

**Q**聖火皿に灯った大きな炎を見た時どうでしたか？

**A**あれが東京オリンピックの会場のところにもつくので、今まで回ってきて良かったなと思いました。

**前岡里奈さん**



**Q**今日の感想は？

**A**今日は最年少として、聖火ランナーとして、この聖火をつなぐことができ、嬉しいです。今日は大勢の人が見ている中で、他の聖火ランナーの人たちと一緒に聖火をつなげて嬉しく思います。

**Q**トーチを持ってみた最初持った時の感想は？

**A**最初に手にした時に、重みを感じて聖火ランナーだということを実感して、この聖火が東京の会場に届いた時も選手たちを応援してみたいと思いました。

**Q**トーチキスで炎をもらった時、灯った炎を見てどうでしたか？

**A**炎の大きさにこれからの大会が楽しみになりました。

**Q**町田市生まれ、町田市在住ですか？

**A**そうです。

**Q**地元町田に聖火が来て、イベントに参加できた感想は？

**A**公道を走れなくなったことは残念なんですけど、この町田のシバヒロで聖火をつなげることができてとも光栄です。

**Q**トーチはどうされるんですか？

**A**購入したので家に飾りたいと思います。

### 3 東京2020オリンピック自転車競技ロードレース

東京2020オリンピック開会式の熱気が冷めやらぬ7月24日と25日、自転車競技ロードレースが開催されました。男女合わせて66ヶ国から195名の選手が出場し、町田市を含む4都県15市町村にわたるコースが、世界のトップアスリートによる金メダル争いの舞台となりました



町田市内のコースは、都立武蔵野の森公園のスタートから約34km地点にあたる小山内裏トンネルから稲荷橋にかけての約3.4km。選手達は、多摩ニュータウン通りから、町田街道、八王子バイパスへと駆け抜け、レース序盤の駆け引きを繰り広げました。



町田市内コース図 (男女共通)

## 競技概要

### 開催概要

	男子	女子
日時	2021年7月24日(土)11:00~18:15	2021年7月25日(日)13:00~17:30
総距離	244km	147km
出場国・選手数	57ヶ国・128名	40ヶ国・67名
競技会場	<b>【スタート】</b> 武蔵野の森公園（東京都府中市・調布市・三鷹市） <b>【ゴール】</b> 富士スピードウェイ（静岡県駿東郡小山町） <b>【通過自治体】</b> 東京都府中市、調布市、三鷹市、小金井市、稲城市、多摩市、八王子市、町田市、神奈川県相模原市、山北町、山梨県道志村、山中湖村、静岡県御殿場市、裾野市、小山町	

### 開催までの主な経緯

- 2018年8月 コース決定
- 2019年7月 テストイベント開催  
(コラム参照)
- 2020年3月 大会1年延期決定
- 2020年7月 新たな競技日程発表
- 2021年4月 レースに伴う交通規制公表
- 2021年7月 沿道観戦自粛方針発表  
競技開催



コース全体図 (男子)

### コラム

#### 「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」について

2019年7月21日(日)、東京2020大会の成功に向け、競技及び大会運営の能力を高めることを目的としたテストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」が、男子の世界自転車連盟(UCI)公認大会として開催されました。

海外ナショナルチームや国内のチームなど20チーム96名の選手が出場し、イタリアのディエゴ・ウリッシ選手が優勝。町田市内でも本番と同じコースで迫力あるレースが展開され、沿道では多くの方がその様子を観戦されました。

当日は、まちだサポーターズ196名もコース沿道で資機材の配置や観戦者への案内などを実施。テストイベントの経験は、交通規制や人員・資機材配置の変更など、2021年の東京2020大会の競技運営に活かされました。

## オリンピック自転車競技ロードレースにおける町田市取り組み

### ■大会開催及び交通規制の周知

コース沿道地域を中心に、様々な形で競技概要や交通規制等の周知を図りました。

地域代表者への事前説明	地域説明会に先立ち、組織委員会担当者とともに交通規制の概要を説明 小山連合町内会 代表者に資料郵送（2021年3月19日定例会中止のため） 相原地区連合町内会 2021年4月7日定例会（堺市民センター）にて説明 小山町第三町内会 2021年3月28日定例会（小山第三町内会館）にて説明
地域説明会	競技開催に伴う交通規制周知のため、組織委員会担当者とともに開催 2021年4月10日（土）10：00～堺市民センターホール（参加者8名） 2021年4月14日（水）19：00～堺市民センターホール（参加者6名） 2021年4月17日（土）14：00～小山市民センターホール（参加者16名）
近隣事業者への個別説明	競技開催に伴う交通規制周知のため、2021年6月にコース近隣の事業者130軒を訪問し、説明と合わせてポスター掲示やチラシ配布の協力を依頼
新たな交通規制区間の周知	テストイベントから交通規制が追加された区間について、隣接する町内会に変更点を説明し、住民への周知の協力を依頼 町有町内会（チラシ全戸配布） 多摩境町内会（6月13日定例会で班長に説明、チラシ回覧・掲示板掲示） 片所町内会（町内会報に記載） 小山町御嶽堂町内会・沼町内会（チラシ回覧）
その他の周知	市ホームページ（2021年4月15日～7月25日） 広報まちだ6月15日号 コミュニティバス車内広告（2021年6月～7月25日） 市民バスまちっこ・小山田桜台小型バス・かわせみ号・玉ちゃんバス ポスター掲示・チラシ配布（2021年6月上旬～7月25日） 各市民センター、木曽山崎コミュニティセンター、駅前連絡所 相原中央グラウンド 町内会・自治会掲示板（市全域、2021年6月中旬～7月25日） 町田ターミナルプラザデジタルサイネージ（2021年7月10日～25日） 商工会議所News2021年7月号（7月20日発行）



自転車ロード交通規制チラシ

### 自転車競技ロードレースに伴う交通規制のお知らせ

東京2020お問い合わせ窓口 ☎0570・09・2020（月～金曜日、午前9時～午後5時）

7月24日・25日に実施する東京2020オリンピック自転車競技ロードレースに伴い、コース周辺で交通規制を行います。詳細は市HPをご覧ください。

交通規制日	交通規制時間	交通規制区間
7月24日(土) 男子ロードレース	午前10時30分～午後0時35分 午前10時40分～午後0時40分	島田療育センター入口から多摩ニュータウン入口まで 多摩ニュータウン入口から稲荷橋まで
7月25日(日) 女子ロードレース	午後0時30分～2時40分 午後0時40分～2時45分	島田療育センター入口から多摩ニュータウン入口まで 多摩ニュータウン入口から稲荷橋まで

広報まちだでの周知



地域説明会の様子

## ■コースサポーターの確保

コースサポーターは、東京2020オリンピック競技大会の自転車競技ロードレースの沿道で活動するボランティアです。

町田市内では、各日245名（2日間延べ490名）の配置が必要とされ、組織委員会が東京マラソン財団を通じて募集した各日25名（2日間延べ50名）を除く各日220名（2日間延べ440名）の募集等を町田市が担当しました。

## ●コースサポーターの募集

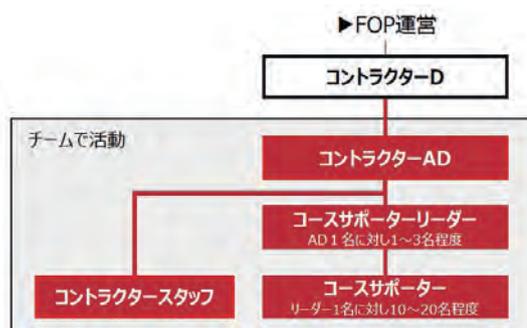
町田市では、まちだサポーターズからコースサポーターを募集しました。

新たな競技日程決定後の2020年10月、2020年のコースサポーター活動を希望されていた方（男子ロードレース228名、女子ロードレース209名）を対象に意向調査を行ったところ、男子ロードレースで189名、女子ロードレースで183名の方から、改めて参加意向を確認できました。必要人数を確保するため2020年12月に追加募集を行い、多くの応募があったため、組織委員会と調整の上、各日225名の方に参加いただくこととしました。

## ●コースサポーターリーダーの新設

テストイベントでは、コースサポーターへ指示するスタッフ数が限られ、現場の混乱がありました。この経験を踏まえ、大会本番では、コースサポーターをまとめ、チームが効率よく活動できるよう、組織委員会のスタッフをフォローアップする役割としてコースサポーターリーダーを新設しました。

組織委員会では、地域の地理を熟知した自治体職員がリーダーを担うことを想定していましたが、町田市では、ボランティア活動の経験に長けたまちだサポーターズの中からコースサポーターリーダー24名を選任することとしました。



FOP（コース内）の運営体制イメージ図

## ●コースサポーターリーダー研修会

日時：2021年5月23日（日）9：30～

会場：オンライン開催（市庁舎10-2会議室併用）

参加者：コースサポーターリーダー24名

（オンライン 17人・市庁舎 6名

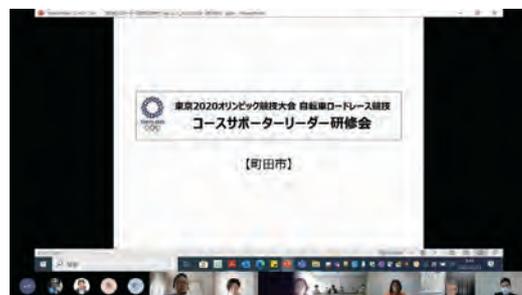
録画映像での後日受講 1名）

内容：第1部 基礎研修（約1時間）

第2部 配置確認（約1時間）

交通規制区間、集合時間等

リーダー担当区間の配置確認



コースサポーターリーダー研修会の様子

●コースサポーター活動説明会

日時：2021年6月19日（土）9：00～・14：00～・18：00～

会場：市庁舎2-1、2-2、2-3・4会議室  
（オンラインで3会場をつないで同時開催）

参加者：コースサポーター208名（リーダー含む）

内容：第1部 基礎研修（約1時間）  
第2部 配置場所での活動説明（約45分）  
※受付時に活動物品（Tシャツ、キャップ、  
ア krediyteshonkard、飲料水、  
活動マニュアル）を配布



コースサポーター活動説明会の様子

●最終ミーティング

日時：2021年7月23日（金）13：00～

会場：小山市民センターいこいの間

参加者：コースサポーターリーダー  
コントラクターD・コントラクターAD

内容：配置場所ごとの競技運営手順の最終確認  
配置図確認、チーム内の配置割振り打合せ  
現地確認



自転車RR最終ミーティング

■資機材置場及び関係車両駐車場の確保

組織委員会からの依頼により、資機材置場や駐車場の確保につき調整を行いました。

資機材置場

箇所数	資機材の数量		備考	
町田市有地	15	鉄柵	137台	市有地・民地の使用は町田市が調整・依頼 テストイベントの経験を踏まえ、よりスムーズに 資機材を配置できるよう資機材置場を30ヶ所追加 (テストイベント時は29ヶ所)
民地	4	コーン	533個	
所有地等	32	コーン・バー	1388セット	
計	59	サイン・標識等	104台	

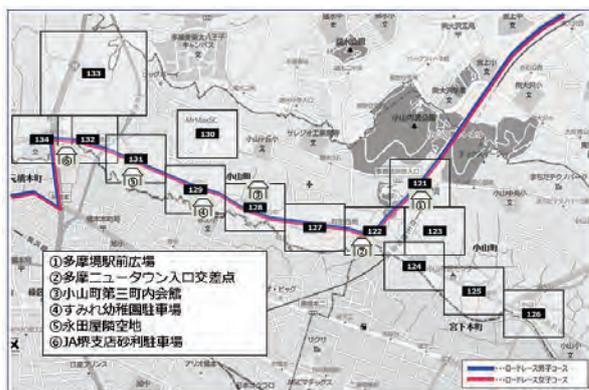
自衛隊車両駐車場（自衛隊員は、競技当日の交通規制要員、沿道の警備員として活動）

駐車場所	車両	日時	
小山市民センター 北側空地	小型車両	1台	7月22日（木）8：00～17：00（現地実査用）
	中型車両	1台	7月23日（金）8：00～17：00（現地実査用）
相原中央公園 多目的広場	中型車両	1台	7月24日（土）8：00～15：00（競技当日）
	大型車両	4台	7月25日（日）10：00～17：00（競技当日）

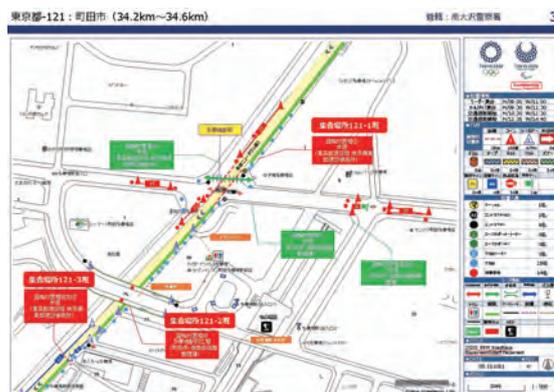
## レース当日の運営体制

### ■資機材・人員配置計画

安全かつ円滑な競技運営のため、町田市内を14区画に分けて、鉄柵やコーン等の資機材、競技運営スタッフやコースサポーター等の人員が、組織委員会の計画に基づき配置されました。また、市では、沿道のコンビニ等にご協力頂き、コースサポーターが使用できるトイレ7ヶ所やAEDを使用できるように、事前調整を行いました。



資機材・人員配置計画上の14区画と休憩所



多摩境駅前の資機材・人員配置計画図

### ■市の体制

多摩境駅前に町田市の拠点となる本部を設置したほか、コース沿道6ヶ所に休憩所を設置し、2日間で85名の市職員を配置しました。休憩所には日陰を作り、熱中症の初期対応ができるよう飲料、氷などの物品を配置して、コースサポーターや競技運営スタッフの活動をサポートしました。



多摩ニュータウン入口の休憩所の様子

### ■当日の様子

両日とも30度を超える猛暑の中、コースサポーターや競技運営スタッフ等は、声を掛け合いながらきびきびと元気に活動されていました。また、暑さで体調を崩された数名のスタッフ等についても、休憩をとることで無事活動を終えることができました。

(まちだサポーターズの活動の様子やコースサポーターインタビューは25ページをご覧ください。)

残念ながら、沿道でのレース観戦は自粛となってしまい、コースサポーターはビブスやメッセージボードで、集まった方にコロナ対策を呼びかけました。

町田街道沿いにあるすみれ幼稚園では、いろいろな国の言葉で「がんばれ」と書かれた園児の手作り横断幕が選手達を応援していました。



すみれ幼稚園の横断幕

## 4 東京2020パラリンピック聖火リレー

8月20日（金）の朝、市内障がい者関連施設及び子ども関連施設から集めた、パラアスリートへの応援や共生社会への想いが込められた種火やメッセージカードをひとつの火にして「パラリンピック聖火（まちだの火）」を採火しました。このまちだの火は、全国各地の火などと合わさり、東京2020パラリンピック聖火になりました。



**“CHECK**  
全部で17施設のみなさまにご協力をいただきました！

### ●障がい者関連施設●

かがやき(町田ダリア園)、クラフト工房 La Mano、しんわ町田事業所、ひかり療育園、町田リス園

### ●子ども関連施設●

子ども創造キャンパスひなた村、子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターぱお、子どもセンターただON、子どもセンターまあち、玉川学園子どもクラブころころ児童館、南大谷子どもクラブMOこもこ、木曽子どもクラブきそっち、南町田子どもクラブつみき、小山子どもクラブさん、三輪子どもクラブMIWA~GO

採火式では、協力施設から集めた種火やメッセージカードを、採火皿の中で1つの火にしました。1つの火にする大役を務めたのは、子どもセンターばあんの子どもたちです。

このまちだの火はランタンに格納され、同日昼に行われた、都内集火式に向かいました。

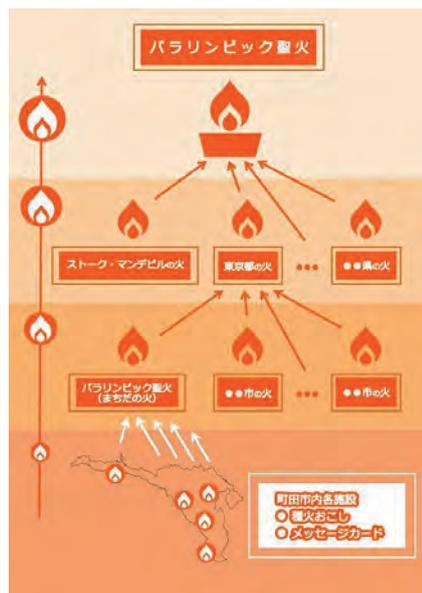


## 開催概要

### (1) パラリンピック聖火リレーとは

パラリンピック聖火リレーは、ギリシャ・オリンピアの太陽光で採火された炎をつなぐ、オリンピック聖火リレーとは異なります。パラリンピック発祥の地であるイギリスのストック・マンデビルの火と、開催国内の複数箇所で起こした火を採火することで実施します。

東京2020パラリンピック聖火リレーは、「Share Your Light/あなたは、きっと、誰かの光だ。」のコンセプトのもと、オリンピック終了後、2021年8月12日から8月24日のパラリンピック開会式までの間で開催しました。



### (2) 開催スケジュール

- ・ 8月12日から16日：43道府県（の市区町村）で採火
- ・ 8月17日から20日：競技開催都県（静岡県・千葉県・埼玉県・東京都）で採火
- ・ 8月20日：全国集火式
- ・ 8月21日から24日：開催都市東京都内聖火リレー（18区市）

## コラム

### 都内集火式について

8月20日昼に行われた都内集火式に向けて、多くの都内区市町村の担当者は、同日早朝から採火を行い、対応に追われていたと思われます。各自治体で採火した火は、東京都庁に集合し、都民広場に特設されたステージ上で合わさって「東京都の火」になりました。採火の際は、区を代表して江東区山崎区長、町村を代表して瑞穂町杉浦町長、そして、市を代表して町田市石阪市長が登壇しました。



## 5 東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ

東京2020パラリンピックに向けて、直前期にトレーニングをするために、インドネシアパラバドミントン代表選手7名が、2021年8月19日から8月26日にかけて、町田市内で事前キャンプを行いました。

インドネシアパラバドミントン代表チームが町田市でトレーニングを行うのは、2017年1月、2018年1月、2019年11月に続き、4回目です。過去の受け入れ経験を活かし、選手たちが集中できる環境を用意しました。

これまでの事前キャンプでは、市民交流の場をたくさん用意してきましたが、今回に関しては、新型コロナウイルス感染症対策を行う必要があったため、オンライン交流や、選手たちと十分に距離を確保しながら行った公開練習など、工夫を凝らして実施しました。



羽田空港お出迎え



市長が2階席観客席から選手を激励



練習施設内の日本文化装飾



オンライン交流の様子



公開練習の様子



選手集合写真

## 事前キャンプとは

各国のオリンピック委員会・パラリンピック委員会が、東京2020大会前の代表選手団のコンディショニング調整等のために任意で実施するトレーニング合宿です。

町田市では、トップアスリートとの交流により子どもたちに夢や希望を与えることができること、市民と外国との国際交流が生まれること、スポーツ祭東京2013で培ったボランティア活動を継続し、おもてなしの心を育むことができること、多くの人が町田市を訪れ、地域経済の活性化が期待できることなどから、2013年9月の東京2020大会開催決定直後から事前キャンプ招致を進めてきました。

## 事前キャンプ招致活動経緯

日程	内容
2013年9月7日	東京2020大会 開催決定
2013年9月9日	事前キャンプ招致を表明
2013年12月20日	第1回町田市オリンピック等国际大会関連事業推進本部会議を開催。事前キャンプ招致に向けオール町田で取り組む体制を整備。
2016年5月～	東京2020事前キャンプ地ガイドに市施設掲載
2016年6月19・20日	マレーシアU-22サッカー代表強化合宿受入れ
2016年10月23日～28日	ベトナム競泳代表強化合宿受入れ
2017年1月27日～2月2日	パラバドミントンインドネシア・日本代表合同合宿受入れ
2017年4月15日～17日	パラバドミントン日本代表強化合宿受入れ
2017年7月20日～23日	7人制ラグビー女子日本代表強化合宿受入れ
2017年9月7日～10日	JAPANパラバドミントン国際大会2017開催
2018年1月23日～26日	パラバドミントンインドネシア・日本代表合同合宿受入れ
2018年5月15日	インドネシアパラバドミントン代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2018年8月27日	インドネシア空手代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2018年9月26～30日	JAPANパラバドミントン国際大会2018開催
2018年11月8日	中国卓球・バレーボール・バドミントン・競泳代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結（後にバドミントンを主として調整）
2018年11月29日	南アフリカ代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結（陸上競技を中心に調整）
2018年12月17日	インドネシアバドミントン代表チームの事前キャンプ実施に関する覚書締結
2019年8月26日～9月4日	インドネシア空手代表チーム1年前プレキャンプ受入れ
2019年11月4～11日	インドネシアパラバドミントン代表チーム1年前プレキャンプ受入れ
2021年4月～	事前キャンプ選手等受入れマニュアルの作成
2021年4月～5月	インドネシアバドミントン・空手、南アフリカ、中国は練習スケジュールの調整等の結果、町田市で事前キャンプを実施しないことを決定
2021年8月19日～26日	インドネシアパラバドミントン代表事前キャンプ受入れ
2021年9月1日～5日	東京2020パラリンピックバドミントン競技開催 インドネシア代表は金2・銀2・銅2の好成績を収める
2021年9月6日	インドネシアパラバドミントン代表選手帰国

## 1年前プレキャンプ

2019年にインドネシア空手代表チームとパラバドミントン代表チームが都内で行われた国際大会に合わせて来日した際に、東京2020大会における事前キャンプの運営等のテストを兼ねた1年前プレキャンプを実施しました。

### (1) インドネシア空手代表チーム

#### 1 練習について

実施期間 2019年8月26日（月）～9月4日（水）10日間

練習施設 サン町田旭体育館 2階 多目的室

宿泊施設 レンブラントホテル東京町田

選手団人数 選手6名、団長1名、コーチ2名 計9名（団長は8月29日来日）

#### 2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
8月28日（水）～ 9月3日（火）	サン町田旭体育館	練習見学	275名
8月29日（木）	真光寺中学校	選手学校訪問による交流会	328名
8月30日（金）	南第三小学校	選手学校訪問による交流会	120名
9月2日（月）	サン町田旭体育館	町田第三小学校との交流会	75名
9月3日（火）	小山中央小学校	選手学校訪問による交流会	130名
8月31日（土）	サン町田旭体育館	町田市空手道連盟児童交流会	58名
9月2日（月）	法政大学町田キャンパス	合同スパーリング練習	20名
			合計 1,006名



真光寺中学校



南第三小学校



町田市空手道連盟



小山中央小学校

## (2) インドネシアパラバドミントン代表チーム

### 1 練習について

実施期間 11月4日(月)～11月11日(月) 8日間

練習施設 サン町田旭体育館アリーナ

宿泊施設 レンブラントホテル東京町田

選手団人数 選手10名、コーチ・スタッフ4名 計14名

### 2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
11月5日(火)～ 11月10日(日)	サン町田旭体育館	練習見学、体験会等	671名
11月9日(土)	町田第二小学校	選手学校訪問による交流会	100名
11月10日(日)	町田市立総合体育館	バドミントン交流会	80名
			合計851名



練習見学



練習後集合写真



町田第二小学校交流会



バドミントン交流会

## 東京2020大会事前キャンプ

### (1) 事前キャンプ受入れに向けて

東京2020大会延期前においては、事前キャンプ実施に関する覚書を締結していたインドネシアバドミントン・空手・パラバドミントン、南アフリカ陸上、中国バドミンントンの3か国5競技の事前キャンプを受け入れる予定でした。

しかし、インドネシアバドミントン・空手、南アフリカ陸上、中国バドミンントンの3か国4競技については、東京2020大会延期に伴う練習スケジュールの調整等の結果、双方合意の上で事前キャンプ実施を見送ることとなったため、事前キャンプの受入れはインドネシアパラバドミントンのみとなりました。

### (2) 選手等受入れマニュアルについて

事前キャンプの受入れにあたり、新型コロナウイルス感染症対策は選手等を保護し安全・安心な大会運営の実現を図る観点と、事前キャンプ受入れ自治体住民への感染防止の観点の双方にとって必要不可欠であり、その体制に万全を期する必要性がありました。内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部は「ホストタウン等における選手等受入れマニュアル作成の手引き」を作成し、事前キャンプ受入れ自治体はその手引きを踏まえ、「選手等受入れマニュアル」を作成することが必須となったのです。

新型コロナウイルス感染症対策として、選手等受入れマニュアルに以下のような対策を定め、インドネシアパラリンピック委員会との合意を経て対策の詳細をまとめ、受入れ期間中の2021年8月21日に最終版の受入れマニュアル（全81ページ）が完成しました。

#### <選手等受入れマニュアルに記載した主な感染対策>

##### ○事前キャンプ期間中の行程管理・行動制限

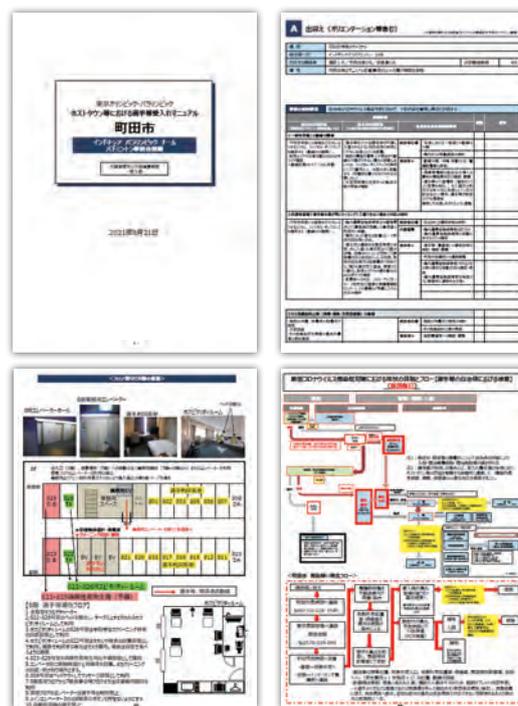
選手等と市民との接触を回避するため、行動範囲を練習施設と宿泊施設の往復のみに制限し、移動は専用車両を使用（選手団が外部の人と接触しない「バブル方式」で管理し、通訳1名と市職員1名をバブル内に配置）

##### ○宿泊施設や練習施設における感染防止策の策定

選手等以外の者との接触を避けるための動線分離、宿泊施設はフロア単位の貸切

##### ○選手等への定期的な検査、陽性時の対応フローの策定

##### ○選手の感染リスクを考慮した市民交流に限定



受入れマニュアル抜粋

### (3) インドネシアパラバドミントン代表チーム事前キャンプ

#### 1 事前キャンプ概要

実施期間 8月19日(木)～8月26日(木) 8日間  
 練習施設 町田市立総合体育館メインアリーナ  
 宿泊施設 レンブラントホテル東京町田  
 選手団人数 選手7名、コーチ・スタッフ3名 計10名

名前	出場種目	東京2020 大会結果	過去の町田市トレーニングキャンプ参加		
			2017	2018	2019
Ukun Rukaendi ウクン ルカエンディ	 男子シングルス SL 3	5位	○	○	○
Hary Susanto ハリースサント	 男子シングルス SL 4 混合ダブルス SL 3-SU 5	5位 金メダル	○	○	○
Leani Ratri Oktilla レアニ ラトリ オクティラ	 女子シングルス SL 4 混合ダブルス SL 3-SU 5 女子ダブルス SL 3-SU 5	銀メダル 金メダル 金メダル	○	×	×
Khalimatus Sa'diyah カリマトゥス サディヤ	 女子シングルス SL 4 女子ダブルス SL 3-SU 5	5位 金メダル	○	×	×
Fredy Setiawan フレディ スティアワン	 男子シングルス SL 4	銅メダル	○	○	○
Dheva Anrimusthi デファ アンリムスティ	 男子シングルス SU 5	銀メダル	×	○	×
Suryo Nugroho スルヨ ヌグロホ	 男子シングルス SU 5	銅メダル	○	×	○

## 2 交流事業について

実施日	場所	内容	参加者
8月22日（日） 8月23日（月）	町田市立総合体育館	公開練習見学	425名
8月22日（日）	町田市立総合体育館	オンライン交流イベント	150名 合計575名

来場者は2階観客席から選手の練習を見学しました。スマッシュや相手の逆を突くドロップショットなどが繰り返されると、観客席からは大きな拍手が起こりました。練習の合間には、来場者から集めた感想や選手に対する質問を発表する時間を設けることができ、選手と来場者による交流をすることができました。

また、8月22日に行ったオンライン交流では、子どもセンターと中継をつなぎ、子どもたちが選手たちに直接質問をする場面や選手たちからのメッセージを配信しました。オンライン配信を通して、練習会場に来ることができなかった方に対しても、選手との交流の機会を広く設けることができました。



事前キャンプ（コロナ対策を中心に）

日本でも感染者は増加していましたが、インドネシアの感染者数の増加はすさまじく、7月には国からコロナ流行国に指定されるほどで事前キャンプが終わるまで気が抜けない日々が続きました。

<入国前>

大会プレイブックに基づき、入国前14日間の健康観察と、出国前96時間以内に2回（うち少なくとも72時間前に1回）の検査で陰性であることが入国の条件でした。陽性となれば事前キャンプに来ることはおろか、大会出場自体もできなくなる恐れがあるため、インドネシアチームは8月初旬から徹底した隔離生活を送り大会に向けた準備を行ってきたと聞いています。

<入国～事前キャンプ>

入国した羽田空港での検査で陰性であれば晴れて入国することができます。1名でも陽性になると町田市での練習が難しくなることから、空港では冷や冷やしながらか今か今かと検査結果の連絡を待っていました。結果はめでたく全員陰性。無事10名全員の笑顔を見ることが出来てホッとしました。

事前キャンプ期間中は毎朝ホテルで唾液による抗原定量検査を行いました。検査結果は翌日届くことになっていましたが、毎日検査会社からの連絡をドキドキしながら待っていました。

コロナ対策の行動制限として移動はホテルと練習会場の往復のみに限定されたため、専用バス車内からの町田市内観光、チーム全員でのパラリンピック開会式中継の視聴、食事メニューの変更など、出来る限り選手の要望に応じてストレスの軽減に努

めました。

選手も楽しみにしていた市民との交流については、過去3回の合宿のような直接の交流はできませんでしたが、公開練習見学やオンライン交流イベントによる交流事業を行いました。コロナ対策を

行って実施した公開練習見学には、コロナ禍にも関わらず多くの方にお越しいただき、選手はとても喜んでいました。今まで交流してきた市民等も練習会場に駆けつけて応援している姿は感動的でした。

<選手村入村～大会>

コロナ対策を徹底したこともあり、事前キャンプ最終日までの毎日の検査は、無事全員陰性でした。最終日は選手村までお見送りし、無事選手村入村時検査でも陰性となったとの連絡を受けました。

大会本番では事前キャンプの練習を活かして7名中6名がメダルを獲得（金2・銀2・銅2）するなど、インドネシアチームが大活躍しました。

<帰国>

お見送りに行った成田空港ではメダルを見せてもらうサプライズ！選手達から「良い成績が収められたのは町田のおかげ」「また町田に来たい」という嬉しい言葉をいただき、笑顔でお別れしました。



## 6 ボランティア

今大会でも、まちだサポーターズをはじめとするボランティアの活躍がありました。

まちだサポーターズはスポーツ祭東京2013のボランティアを母体に作られたボランティア組織で、東京2020大会を目指して活動を続けてきました。

### 自転車ロードレース

7月24日、25日に行われた自転車ロードレースでは、コース沿道で資機材の設置や撤去を行うコースサポーターとして、2日間で延べ397名のまちだサポーターズが活動しました。

市内を走行したのは約3.4kmという、コース全体から見れば短い距離でしたが、それでも資機材の設置や撤去、沿道の整理には多くの人手が必要で、競技実施にはボランティアの存在が必要不可欠でした。

活動に向けては、参加するコースサポーター全員が研修を受講し、当日の流れや持ち物、活動内容や動きについて事前に確認を行いました。コースサポーターの中には2019年に行われたテストイベントに参加した人が多く、大きな混乱なく活動が進みました。

本来であれば市役所職員が担うコースサポーターの統括役であるコースサポーターリーダーの役割も、まちだサポーターズが担いました。コースサポーターリーダーはコースサポーターが受講する研修とは別にリーダーのみの研修を受講し、競技前日には現地で組織委員会から派遣されるスタッフとの打ち合わせを行うなど、負担と責任が大きい活動ながらも与えられた役割を果たしていました。



## ロードレースボランティアの皆さんにインタビューをしました!



舟木武子さん



**Q**いよいよ1年の延期を経て町田市でロードレースが始まりますが、お気持ちはいかがですか？

**A**とても嬉しいです。

**Q**この日を迎えるまで皆さんどうでしたか？

**A**決まった時点から8年ありましたので、すごくいろんなことを考えました。2020年から2021年にかけては、できるかな、できたら良いなとずっと思っていました。

**Q**わずかな時間ですが世界のトップ選手が町田市を駆け抜けます。どう感じますか？

**A**2019年のテストイベントに参加した時に感じたんですが、やっぱり現場は全然違うなど。生で見れるのは最高だと思って参加しました。

**Q**一緒に参加されているボランティアの皆さんの様子は？

**A**皆さんそれぞれいろんな思いがあったこの何年間だと思えますが、ここにいる方は皆さんそろって、成功してほしいと思っています。

**Q**2日間終えての感想は？

**A**良かったです。無事に終わって。楽しくって、お天気にも恵まれて本当良かったと思います。

藤江照雄さん



**Q**いよいよ東京オリンピックが始まりますが、いかがですか？

**A**待ちに待ったというか、本当にできるのかという心配もありましたけど、今日こうやってできるのは本当に良かったなと思っています。

**Q**町田のこの道路をすごいスピードで駆け抜けますが期待することは？

**A**ここが一番良い場所だと思うし、我々見れるかどうか分かりませんが、楽しみにして、スピード感を味わいたいと思います。

**Q**ご自身の気持ちは？

**A**私も楽しみで、ぜひこの暑さの中ですけど頑張りたいと思います。

**Q**地元町田にオリンピックが来る気持ちは？

**A**この町田にいて参加できると思っていなかったのが、本当に楽しみで良かったと思っています。

**Q**2日間終わりいかがでしたか？

**A**暑さが大変でした。でもみんな一生懸命頑張ってくれたので無事に終わって良かったと思っています。

**Q**リーダーとして仲間の働きぶりなどはいかがでしたか？

**A**この暑さだったので、倒れたりしたら困るということが一番心配でした。そういうこともなくみんな元気に終わったのでリーダーとしてはそれが何よりです。

## 海東靖雄さん



**Q**いよいよ本日から始まりますがいかがですか？

**A**ついにこの日が来たって感じですね。7/23に開会式を終えて7/24から競技開始、この町田でもオリンピック開始ということで感動しています。

**Q**今日はどのように大会を支えていこうと思っていますか？

**A**すごく良い天気にも恵まれたので、この町田を駆け抜ける時に町田の景色もちょっとくらい見てもらって、日本の良いところ町田の良いところを理解してもらって、それをみんなで支えられるような大会にしたいなと思います。

**Q**仲間たちの気持ちやテンションは？

**A**安全が第一で、コロナも熱中症もあるんですが、一生に一度のこういう機会ですのでぜひ楽しんで思いっきりみんなで充実した日を送れるように、頑張ろうという感じでやりたいと思います。

**Q**2日間終えた感想は？

**A**まずは事故もなく、この暑さで倒れる人もなく、無事に終わって、みんなが無観客とじっくりも大勢来ていて、拍手で迎えてということができて良かったと思います。楽しめました。

**Q**ボランティアとして参加し選手たちもご覧になっていかがでしたか？

**A**選手の方にも、気持ちよくというのか、思いっきり駆け抜けてもらえてたようで相当なスピードで走って行けたので、見る方としては本当に一瞬だったんですが、想定していた通りのレースがちゃんとできたのがやって良かったなと思いますね。

## 川村徹夫さん



**Q**いよいよ始まりますが率直な気持ちを教えてください

**A**私1964年生まれで、第1回東京オリンピックが生まれた年なので、招致2013年に決まった段階で絶対にオリンピックのボランティアに関わろうと思っていたので、やっとこの日が迎えられて本当にほっとしています。

**Q**決まってから8年とさらに1年延期されましたがその間の思いは？

**A**非常に世間全体が大変なことになったので、今できることは何かないかということでボランティアに役立つようないろんな研修なんかを探して、スキルアップをしました。

**Q**これから町田の街を選手たちが駆け抜けますが今の気持ちは？

**A**本当一瞬なんですけど、この世界の大会の舞台がここにあるってことをみんなで共有して楽しんでいただいて、ただ天気がこんななので体第一で楽しんでいただければなと思います。

**Q**リーダーということで一緒に活動されるボランティアの方たちの雰囲気は？

**A**皆さんやる気まんまんなんで、ただ頑張りすぎちゃうといけないので、健康第一で楽しんでいただければなと思っています。

**Q**今日はこういった活動をされますか？

**A**我々はコース管理をするので、選手が走ってくるコースの設置をして、無観客ですけどいらっしゃる方がいるかもしれないので、そういう方に注意喚起し、コースに入らないようにして通っていただくという感じですね。カラーコーンの設置から始まります。

## 事前キャンプ公開練習

パラリンピックのバドミントンに出場するインドネシア代表の事前キャンプが市内で行われました。

事前キャンプは新型コロナウイルス感染症の影響により原則非公開で行われたため、ボランティアの活動機会は限られてしまいましたが、8月22日と23日は公開練習見学を行い入場者の受付・検温、会場の消毒などの活動でまちだサポーターズが活躍しました。

新型コロナウイルス感染症の影響で予定していたイベントが実施できず、本来の想定よりもボランティアの活躍の場が減ってしまった中でも、活動に参加したボランティアからはオリンピックに関連する活動が1つでもできてよかったという声が聞けました。





## 公開練習見学ボランティアの皆さんに インタビューしました！

黄川田南さん



**Q** ボランティアに参加された経緯は？

**A** 今回オリンピック・パラリンピックが開催されるにあたって、町田市にインドネシアの方がパラバドミントンのキャンプをされるということで、ぜひ選手にパラリンピックで頑張っていたいただきたいなと、そのためにお手伝いできることがあれば何かやりたいなということで、たまたま今回募集があったので、応募させていただきました。選手にはぜひ頑張っていたいただきたいなと思っています。

**Q** パラバドミントンに興味があったんですか？

**A** バドミントンは私はやってないんですけど、バドミントンの競技は日本の選手も強いのでよくテレビでも見えますし、今までもインドネシアの選手がこちらに来てキャンプや公開練習をされたことがあり、その時にも私は来てやっているの、なんとなくインドネシアの選手っていうと親しみを感じて、今回そういうこともあって参りました。

**Q** 今日の意気込みや、どのようにサポートしていきたい、などあれば教えてください

**A** 選手の方が問題なく気持ち良く練習ができるように、周りの環境を整えていきたいなと思っています。

石黒弘子さん



**Q** 本日はどのような気持ちで参加されていますか？

**A** 以前こちらの体育館でブラインドサッカーを見まして、とても感動したんですね。ゴーグルをかけて皆さん見えない中で、体のアタックも強いし、それを見てものすごく感動しまして、近くだということもあってぜひボランティア兼、皆さんの活動を一目見てみたいなと思ひましてそれで応募させていただきました。

**Q** インドネシアの選手たちは以前もこちらに来ていて、ゆかりがあるようですがそのあたりはいかがですか？

**A** そこまではちょっと存じ上げなかったんですが、(以前開催された国際大会では)全世界中の方たちがパラバドミントンをされていて、本当に華やかでした。ここ一体が。背中にいろんな国名が書いてあるウェアを着ていて、それを見てこっちもすごく気分が高揚するといいますか、とても感動した覚えがありますので、また間近で見られて嬉しいなと思っています。

**Q** 本日の意気込みはありますか？

**A** コロナ禍の開催ですので、非常に難しい開催ではあると思うんですけど、できれば小さいお子さんとかに私が見た感動を感じていただけるような日になればいいなと思っています。

## コラム

### 聖火リレーボランティアについて

7月9日に予定されていたオリンピック聖火リレーでは沿道でのボランティアとして、まちだサポーターズをはじめ商店街や自治会、体育協会、大原学園から合わせて1179名が集まりました。

本来であれば、揃いのTシャツを着用し沿道での資機材の設置や撤去、歩行者の整理誘導を行う予定でした。公道での聖火リレーの実施が中止になったことにより、活動の場がなくなりました。それでも、当初想定していた700名よりも多くのボランティアが集まり、オリンピックというイベントへの関心の高さ、ボランティア意識の高さがうかがえました。



## 7 気運醸成

東京2020大会の延期が決まった2020年や、大会本番を迎えた2021年のイベントは、新型コロナウイルス感染状況の影響を受けることになり、極めて難しいものでした。感染症対策を行い、実施できたイベントもあれば、中止判断を余儀なくされたイベントもありました。厳しい状況下ではありましたが、できることは何かを模索し、参加者の安全を第一に据えて、気運醸成に取り組みました。

### 大会期間前の気運醸成（イベント・ブース出展）

#### ■オリンピック開幕1年前パネル展示

日程：2020年7月20日（月）～8月7日（金）

会場：市庁舎1階 みんなの広場

参加者数：650名

内容：東京2020オリンピック開幕1年前を記念して市庁舎でパネル展示を実施しました。市内を通過する自転車ロードレースコースの紹介や、町田市ゆかりのアスリートのプロフィール紹介を行いました。



#### ■聖火リレートーチ展示

日程：2020年11月16日（月）、17日（火）

会場：町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート

参加者数：1772名

内容：東京都が主催する「東京2020聖火リレートーチ巡回展示」の一環で実施しました。2日間とも天候に恵まれ、多くの方にオリンピック・パラリンピックの2つのトーチを間近で見いただくことができました。



#### ■パラスポーツトークライブfrom町田

日程：2021年2月21日（日）

会場：オンライン/町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲート

参加者数：250名

内容：ゲストにリオ2016パラリンピック銀メダリストの鹿沼由理恵さんと、安田大サーカス団長安田さんを招いて、パラスポーツの魅力やパラリンピック情報を発信しました。視聴者とアンケート機能でコミュニケーションをとりながら実施しました。



## ■まちだサステナビリティフェス【ブース出展】

日程：2021年3月8日（月）～28日（日）

会場：町田モディ

参加者数：3865名

内容：テナントスペースで、マスコットパネルを中心とした展示を実施しました。また、21日には、アスリートトークショーを実施し、水田光夏選手（東京2020パラリンピック射撃出場）と、関根花観さん（リオ2016オリンピック女子1万メートル出場）をゲストにお招きしました。



## ■オリンピック・パラリンピックマスコット巡回訪問

日程：2021年3月17日（水）、20日（土）

会場：子どもセンター全5館・子ども発達センター

参加者数：323名

内容：施設利用者を対象として、各施設を巡回しました。感染症対策を十分に行い実施したため、ミライトワ・ソメイティとのハグやハイタッチはできませんでしたが、記念撮影を楽しんでいただくことができました。



## ■チャレンジマッスル【ブース出展】

日程：2021年8月3日（火）

会場：市立総合体育館

参加者数：200名

内容：使えなくなったバドミントンのシャトルをきれいに飾り付けするワークショップを、主に子ども向けに開催しました。また、町田市で事前キャンプを行ったインドネシアパラバドミントンチームへの応援メッセージも集めました。



### コラム

#### コミュニティライブサイト(※)とパブリックビューイングの中止

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、残念ながら中止となってしまいましたが、市民のみなさまが会場に集まって楽しく応援できるイベントを計画していました。コミュニティライブサイトに関しては、オリンピック期間は自転車ロードレースに合わせた日程で地域イベントと連携した企画を（会場：小山白山公園）、パラリンピック期間はパラバドミントンの決勝に合わせた日程で様々なパラスポーツ競技体験を含めた企画を（会場：市立総合体育館）、それぞれ予定していました。パブリックビューイングに関しては、町田市ゆかりのアスリートが出場する競技を中心に、市庁舎1階で予定していました。

※コミュニティライブサイトとは

東京2020大会期間中に、競技中継のほか、会場装飾・競技体験・飲食コーナー・ステージイベントなど、多数のコンテンツを用意するイベントのこと。

## 大会期間中の気運醸成（イベント）

### ■大迫傑選手応援企画

日程：2021年8月8日（日）

会場：市立金井中学校 体育館

参加者数：21名

### 現場レポート

東京2020オリンピック男子マラソンに出場した大迫傑選手（市立金井小学校、市立金井中学校出身）の母校、金井中学校体育館で応援企画を行いました。

当日は在校生や保護者など21名が参加し、テレビ中継を通して札幌でレースに挑む大迫選手へ、メッセージボードを掲げて応援の気持ちを送りました。ゲストとして同校出身のオリンピック関根花観さんや大迫選手の恩師山口智美先生、元校長の比良田健一先生にもご参加いただき、マラソン競技や大迫選手の中学校時代のエピソードなどをお聞きしました。

レース終盤、大迫選手が2人の選手を抜き6位に浮上すると、会場ではメッセージボードによる応援と拍手が起こりました。そのまま順位をキープしてゴール、見事6位入賞を果たすと、さらに大きな拍手が鳴り響きました。大迫選手の活躍を目の当たりにした同校陸上部の生徒は「自分も頑張りたい」と抱負を語りました。



6位に順位を上げた大迫選手を応援する会場



大迫選手の健闘を称えて大きな拍手が起こりました



両面にメッセージを印刷した応援ボード



大きな声の代わりにメッセージボードで応援

## ■水田光夏選手オンライン壮行会【コラボ企画】

日程：2021年8月8日（日）

会場：オンライン/子どもセンター5館

参加者数：－

### 現場レポート

東京2020パラリンピック射撃に出場する水田光夏選手（町田市在住・桜美林大学出身）と、5つの子どもセンターをオンラインでつなぎ、壮行会を行いました。手作りの横断幕やうちわなどのアイテムを使い、画面を通してエールを送っていました。子どもたちからの幅広い質問（射撃に関することや普段のおしゃれに関することなど）に、水田選手が笑顔で答え、和やかな雰囲気での壮行会になりました。

今回の壮行会は子どもセンターまあちの運営に関わっている「子ども委員会」の子どもたちが中心となって企画しました。当初は、子どもセンターまあちで対面での開催を計画していましたが、水田選手に安全に大会を迎えてほしいという気持ちからオンライン開催となりました。

大会終了後、水田選手は子どもセンターまあちを訪れてくれました。嬉しいサプライズに子どもたちも大喜びでした。



手作りの応援うちわを持って水田選手へエール



メッセージ入り横断幕の前で壮行会に参加したまあちの子どもたち



オンライン上で質問しました

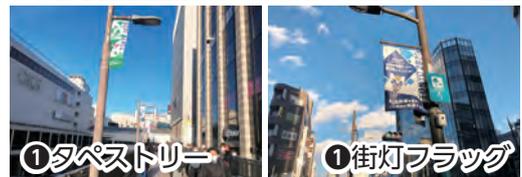
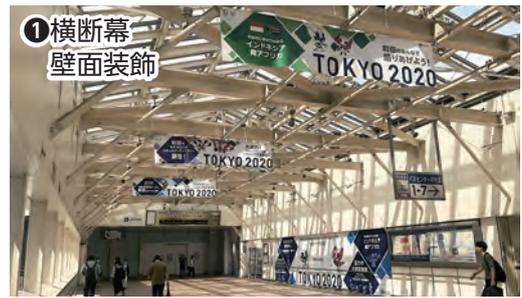


大会後まあちを訪問した水田選手との記念撮影

## 大会装飾

### ■町田駅周辺の装飾

- ①横断幕、タペストリー、壁面装飾、街灯フラッグ  
 期間：2021年1月から2021年9月大会終了頃まで  
 場所：町田駅ペDESTリアンデッキ及び原町田大通り
- ②カウントダウンボード  
 期間：2019年6月20日から2021年9月大会終了頃まで  
 場所：JR横浜線町田駅改札付近など
- ③ポスターコーナージャック  
 期間：2021年7月26日から2021年7月28日  
 (畠田瞳選手)  
 2021年8月6日から2021年8月8日  
 (大迫傑選手)  
 場所：町田駅ペDESTリアンデッキ



町田駅ペDESTリアンデッキで横断幕・壁面装飾・タペストリーを、原町田大通りで街灯フラッグを掲出しました。統一デザインで掲出することにより、自転車ロードレース開催やホストタウン（インドネシア、南アフリカ）応援のメッセージが印象に残るように工夫しました。



- ③ 大会期間中、テレビ放映があった町田ゆかりアスリートの競技は、町田駅ペDESTリアンデッキのポスターコーナージャックして、周知を行いました。

JR横浜線町田駅改札付近や、市庁舎で、大会開幕までのカウントダウンボードを設置しました。



### ■聖火リレー

- ①懸垂幕  
 期間：2021年3月16日から2021年4月5日  
 場所：市庁舎前
- ②横断幕  
 期間：2021年4月14日から2021年7月9日頃まで  
 場所：町田シバヒロなど、当初のオリンピック聖火リレーコース沿道沿い(全4か所)



市庁舎には懸垂幕を、当初予定していた聖火リレールートに沿道には横断幕を設置して、周知を図りました。



## ■ロードレース

### ①柱巻装飾

期間：2021年1月から2021年9月大会  
終了頃まで

場所：京王相模原線 多摩境駅前

### ②横断幕（開催周知）

期間：2019年6月27日から2021年8  
月6日

場所：JA堺支店など、ロードレースコ  
ース沿い（全3か所）

### ③横断幕（ピクトグラム）

期間：2021年7月22日から2021年7  
月26日

場所：町有橋



ロードレース開催周知や盛り上げのために、多摩境駅前で柱巻装飾を設置しました。また、地域のみなさまにご協力をいただいて、JA堺支店などには、横断幕を設置し、開催周知を図りました。大会本番日には、コース沿いの町有橋に、ピクトグラムを描いた横断幕を設置しました。

## ■市庁舎装飾

### ①ライトアップ

期間：2020年7月23日（オリンピック開幕1年前）  
2020年8月24日（パラリンピック開幕1年前）  
など

### ②マスコット懸垂幕

期間：2021年4月14日から2021年4月27日  
2021年5月22日から2021年6月24日  
2021年7月1日から2021年9月5日

### ③町田市ゆかりのアスリート懸垂幕（正面玄関）

期間：2021年7月22日から2021年9月11日



### ①オリンピック



### ①パラリンピック

大会1年前などの節目のタイミングで、オリンピックの五輪をイメージした5色や、パラリンピックのスリーアギトスをイメージした3色で、市庁舎をライトアップしました。



②



③

大会期間にあわせて、市庁舎にはマスコットの懸垂幕を設置しました。また、出場決定にあわせて、市庁舎正面玄関には、町田ゆかりのアスリートの懸垂幕を設置しました。

## 8 さまざまな情報発信

大会に向けた気運醸成、市の取り組み紹介及びゆかりのアスリート応援のため、ホームページ・広報まちだ・Twitterを活用した情報発信を行いました。

### ホームページ

ホームページではオリンピック・パラリンピック特設ページを作成し、ゆかりのアスリートの競技情報や試合結果についての紹介や、事前キャンプを実施したインドネシアパラバドミントン代表のキャンプ情報や試合結果について周知しました。「オリパラ通信+」と題して広報まちだの「オリパラ通信」に掲載しきれなかった内容を紹介するページを作成し、市の取り組みをより深く知ってもらえるよう情報発信をしました。

市ホームページのトップページには大会公式マスコット、ミライトワを使用したバナーを設置し特設ページへの誘導と共に、気運醸成を行いました。



### Twitter

2020年6月18日からTwitterの運用を開始し、大会開会までのカウントダウンや、ホストタウンの紹介、ゆかりのアスリート紹介、大会に関連する情報の発信などを平日はほぼ毎日行いました。イベントを実施した際などは周知や、当日の様子を発信も行いました。

大会期間中はゆかりのアスリートの試合情報や、試合結果についてのツイートを行いました。

大会公式アカウントなどが投稿する選手の写真や試合の映像が添付されているツイートを積極的にリツイートすることで、市で入手や投稿ができない写真や動画を届けることができました。

インドネシアに関連する投稿には、インドネシア語のハッシュタグを付けることでインドネシア人の目に留まるような工夫をしました。特にインドネシアパラバドミントン代表に関する投稿は関心が高く、インドネシア代表の画像を付けた投稿には多くのインドネシア人からのリツイートやリプライが来ました。

Twitterの利点である即時性を活かした取り組みとして、市内で行われたロードレースや、大迫傑選手が出場した男子マラソンの経過、インドネシア代表のパラバドミントンの試合情報・結果をリアルタイムで発信しました。



## 広報紙

広報まちだにおいて「オリパラ通信」と題して市内で行われたオリンピック・パラリンピックに関連した出来事を紹介するコーナーを設けました。

8月1日号 「オリンピック聖火が町田シバヒロにやってきた！」

8月15日号 「自転車ロードレースが町田市内を駆け抜けた！」

9月15日号 「インドネシアパラバドミントン代表チームが事前キャンプを実施」

また、7月1日号で自転車ロードレースに関して、10月1日号ではオリパラ全体の振り返りとして1面・2面を使用して特集記事を作成しました。



## 9 ホストタウン

### ホストタウンとは

ホストタウンとは、東京2020大会に向けて、スポーツ立国、グローバル化の推進、地域の活性化、観光振興等に資する観点から、特定の自治体が応援する参加国・地域の「ホストタウン」となり、人的・経済的・文化的な交流を図ることを推奨した国の制度です。

町田市は、南アフリカとインドネシアのホストタウンに登録し、東京2020大会に向けて、さまざまな機会を通じて、交流を深めてきました。

### ホストタウン登録の経緯とこれまでの取り組み

#### (1) 登録の経緯

南アフリカとの交流のきっかけは、2015年7月にラグビーチーム「ブルー・ブルズ」がスーパーラグビー所属チームとして日本で初めて町田市で遠征を行い、町田市立陸上競技場で当時のホームタウンチーム「キャノンイーグルス」と国際交流試合を開催したことです。この試合以降、ラグビーワールドカップ2015での日本代表対南アフリカ代表戦のパブリックビューイングの実施や、駐日南アフリカ大使館行事への参加等の交流が始まりました。2016年6月にはラグビーワールドカップ2019や東京2020大会に向けてスポーツを通じて南アフリカとの交流をさらに深めるため、ホストタウンとして登録しました。

一方、インドネシアとの交流のきっかけは、2017年1月にパラバドミントンの日本代表とインドネシア代表が町田市で合同合宿を行ったことです。この合宿では、市民に練習を公開したほか、市立小学校でインドネシア代表との交流イベントを実施しました。

同様の合宿は2018年1月にも実施し、5月には東京2020大会の事前キャンプ実施に向けた覚書を締結しました。また、8月には空手、12月にはバドミントンの事前キャンプに向けた覚書を締結し、交流をさらに深めるため、2019年4月にホストタウンに登録しました。



市庁舎を訪問したブルー・ブルズ  
(2015年7月)



パラバドミントン日本・インドネシア代表合同合宿  
(2017年1月)

## (2) 南アフリカに関する取り組み

### ①ネルソン・マンデラ国際デー

南アフリカとの交流は毎年7月18日の「ネルソン・マンデラ国際デー」(以下、「マンデラデー」とする。)を軸に行ってきました。

マンデラデーは、南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領の功績をたたえ、国連が制定した国際デーです。生涯のうち67年間を人権と社会的正義を求める闘争にささげた同氏に敬意を表し、同氏の誕生日である7月18日に「67分間」の社会奉仕活動を行うことを呼びかけています。

町田市では、2016年度から駐日大使館と協力し、マンデラデー当日に清掃等の奉仕活動を行ってきました。

また、7月を「ネルソン・マンデラ月間」とし、市内5つの子どもセンターでの南アフリカ料理教室や国技であるラグビーの体験会、学校給食や市庁舎食堂での南アフリカ料理メニューの提供等、市民に南アフリカの文化を紹介する取り組みを実施してきました。

新型コロナウイルスの影響を受けた2020年度以降も、公式Twitterでの南アフリカについての投稿や、マンデラ氏が多様性に富んだ自国を「Rainbow Nation (虹の国)」と呼んだことにちなんで市庁舎を虹色にライトアップする等、市民に南アフリカを身近に感じてもらえるような取り組みを継続しています。

### ②国際協力機構 (JICA) との連携

南アフリカとの交流にあたってはアフリカ各国の開発援助に力を入れている



町田ダリア園での清掃奉仕活動(2018年マンデラデー)



市庁舎ライトアップ(2019年)



JICA作成教材「みんなが知らない南アフリカのこと」

る独立行政法人国際協力機構（JICA）の協力を得る機会がありました。

2019年度には、JICA南アフリカ支所長や南アフリカ出身留学生を招聘し、市民ボランティア「まちだサポーターズ」や市職員を対象とした勉強会を開催しました。

2021年度には、市立中学校全生徒に南アフリカについての教材を配付し、希望した学校ではJICAによる出前授業を実施しました。



武蔵岡中学校での出前授業（2021年6月）

### ③玉川学園高等部との連携

玉川学園高等部では、毎年希望者が南アフリカに渡航し、現地の人々と交流する研修プログラム「アフリカン・スタディーズ」を実施しています。

町田市のホストタウン登録以降は、ワークショップの開催や市内事業者とのコラボ商品の開発、写真展の開催等、ホストタウンのPRにご協力をいただいています。



「多重露光」により南アフリカと町田で撮影した風景を重ねたアート写真（市庁舎等で展示）

### ④その他

2018年11月に南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会(SASCOC)と事前トレーニングキャンプ実施に向けた覚書を締結しました。

練習スケジュール等の調整の結果、町田市で事前キャンプを実施しないこととなりましたが、練習会場への視察の受入れ等を通じてSASCOCや駐日大使館と交流しました。



「まちカフェ!」でのワークショップ(2018年12月)

### (3) インドネシアに関する取り組み

インドネシアとの交流は、事前トレーニングキャンプ受け入れと町田市立国際版画美術館へのインドネシア人アーティスト招聘を軸に行ってきました。

#### ① トレーニングキャンプ受け入れ

2019年度には空手、パラバドミントンの東京2020大会テストイベントに向けたプレキャンプ受け入れを行い、期間中に市立小中学校や競技連盟との交流イベントを実施しました。

練習スケジュール等の調整の結果、オリンピックの空手、バドミントンについては町田市で大会直前の事前キャンプを実施しないことになりましたが、パラバドミントンについては2021年8月19日～26日に事前キャンプ受け入れを行い、新型コロナウイルス感染対策を徹底し、練習見学やオンラインイベントを通して市民と選手等が交流しました。



#### ② インドネシア出身アーティスト招聘

2019年9月、翌年の町田市立国際版画美術館『インプリントまちだ展2020 すむひと⇄くるひと - 「アーティスト」が見た町田-』（以下、「インプリントまちだ展2020」とする。）に向け、インドネシア出身の若手アーティスト、アグン・プラボウォ氏が来日し、作品制作のための視察やトークショーを行いました。

インプリントまちだ展2020は、新型コロナウイルス感染拡大の影響による幾度の順延を経て、2020年6月9日から9月13日に開催しました。会期中の9月5日、9月6日には、「インドネシアフェア」を開催し、伝統楽器「ガムラン」のミニコンサートやロビーでのインドネシアグッズ販売等を行いました。



アグン氏の作品を鑑賞するプルナジャヤ臨時大使と石阪市長（2020年9月）



アグン氏作品をデザインに使用したホストタウン フレーム切手

また、日本郵便株式会社の協力により、アグン氏の作品をデザインに使用したオリジナルフレーム切手「町田市×インドネシア共和国 ホストタウン フレーム切手」を作成し、市内郵便局等で販売しました。インドネシアフェアでも日本郵便による出張販売を行ったほか、オープニングセレモニーに在本邦インドネシア大使館臨時大使を招き、切手の贈呈式を開催しました。

#### (4) 両国に共通する取り組み

##### ① 応援メッセージ動画

新型コロナウイルス感染拡大の影響により東京2020大会の1年延期が決定し、2020年度には選手団と対面での交流を行うことが叶いませんでしたが、メッセージ動画のやりとりを通して2021年度の事前キャンプ受け入れに向けた交流を継続しました。

##### ■ インドネシア代表との動画のやりとり

2019年度のプレキャンプに参加したインドネシア空手、パラバドミントン代表選手による市への感謝と大会への意気込みを込めたメッセージ動画をいただいたことを受け、交流に参加した市民等によるインドネシア代表への応援メッセージ動画を作成しました。



パラバドミントンインドネシア代表  
スルヨ・ヌグロホ選手



インドネシア代表への応援メッセージ動画

##### ■ 南アフリカ代表との動画のやりとり

コロナ禍においても大会に向けて日々奮闘する南アフリカ代表に向け、授業での学習や現地での研修を通して南アフリカとつながりの深い市民等による応援メッセージ動画を作成しました。



南アフリカ代表への応援メッセージ動画

②町田市文化・国際交流財団との連携  
 一般財団法人町田市文化・国際交流財団は、町田市における地域文化と国際交流の振興を図り、文化の薫り高く国際感覚豊かなまちづくりに寄与することを目的に設立された町田市の外郭団体です。同財団は、2021年7～8月に「南アフリカ・インドネシアと繋がって輪になろう！」と題し、町田市が両国のホストタウンであることをPRし、東京2020大会に向けて気運醸成を図るため、市民ホールや和光大学ポプリホール鶴川でのパネル展示や関連映画の上映、伝統楽器のコンサート等、両国の文化を紹介する事業をシリーズ化して実施しました。

コンサートガイドまちだ 2021年6月・7月 VOL.114



パネル展示(町田市民ホール)



ガムラン×星空コンサート(2021年8月24日)

## 10 レガシー事業について

事前キャンプ招致等に取り組み、海外代表チームや競技団体との関係を深めてきたことで、インドネシアパラバドミントン代表チームの事前キャンプが実現し、市民がパラスポーツに親しみ、ホストタウンとしての国際交流を深める環境を充実させることができました。また、スポーツ祭東京2013をきっかけに誕生した、まちだサポーターズの活動をさらに充実させることができました。これらの事業は、大会レガシーとして、2022年度以降も継続し、推進していきます。

### パラスポーツの理解促進・普及啓発

パラスポーツへの理解促進、普及啓発に関して、町田市では今に至るまでに、市立陸上競技場でのパラ陸上の大会や総合体育館でのブラインドサッカーの試合、パラバドミントンの大会を開催してきました。

2017年度から市立小学校で日本障がい者バドミントン連盟から選手を招いてパラバドミントン体験会を実施してきました。また、市立総合体育館での国際大会の開催や、各国代表チームの合宿を受け入れるなどの実績から、2019年12月には日本障がい者バドミントン連盟と「パラバドミントンサポートシティに関する覚書」を締結しました。

パラリンピックが終わった後も、合宿の受け入れや大会を実施した実績とそこで築いた各関係団体との関係性を活かして、キャンプや大会を招致しパラスポーツのさらなる理解促進・普及啓発を図ります。



第24回関東パラ陸上競技選手権大会



ブラインドサッカーチャレンジカップ2018



パラバドミントン体験会



ヒューリック・ダイハツJAPANパラバドミントン国際大会2017

## まちだサポーターズの活動の充実

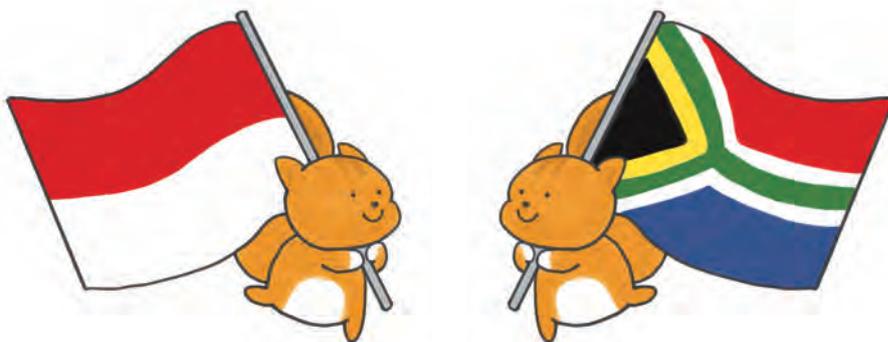
まちだサポーターズは、スポーツ祭東京2013を機に結成し、東京2020大会を目指して活動を続けてきました。ボランティアを続けて行ってきた経験とそこで生まれた人との繋がりがあったからこそ東京2020大会での活動を無事に終えることができました。今までの蓄積と今大会で新たに得られたまちだサポーターズの経験と人との繋がりを絶やすことのないよう、今後も組織を継続し、市内のスポーツイベント等で活動することで人とまちを一つにするボランティアを目指していきます。



**CHECK**  
まちだサポーターズの活躍の様子は、25ページに詳しく紹介しています！

## ホストタウンとしての国際交流

東京2020大会開催を機にホストタウンに登録した南アフリカ、インドネシアとの交流を大会後も継続し、スポーツ、文化などの多様な分野で市民の国際理解を深めることにより、多文化共生のまちづくりを推進します。



**CHECK**  
ホストタウン事業は、39ページで詳しく紹介しています！

## 11 大会組織委員会にて従事した職員を紹介します

東京2020大会を成功に導くため、町田市職員から6名の職員を東京2020大会組織委員会に派遣しました。市役所業務ではなかなか経験できないことを体験してきた職員の業務内容やエピソードを紹介します。

### 竹村 真宜

#### ■組織委員会の所属部署名

大会準備運営局大会計画部運営準備課観客の経験チーム

#### ■派遣期間

2014年4月～2016年3月

#### ■従事内容

私が所属した2年間は組織がどんどん大きくなっている時期で、職員の増加に伴い、東京都庁から新宿住友ビルに移り、2015年からは虎ノ門ヒルズで仕事をすることができました。

2年間で受け持った業務は「セレモニー」「聖火リレー」「文化」「教育」「観客の経験」の5つで、セレモニーチームとして新国立競技場の聖火台の位置の決め方やリオデジャネイロ五輪のフラッグハンドオーバー（旗引き継ぎ式）のイベント内容を電通やイベンターの方々と決める作業をさせていただきました。志半ばで町田市に戻ることになり、テレビの前で「安部マリオ」を見たことは悔しかった反面、自分しか知らない情報だったと誇らしくも思いました。一步間違えるとニュースを賑わせる大きな仕事をしていたという意味で、とても貴重な経験をさせてもらい、現在の職員生活にも活かされていることが多いと思っています。



### 木村 千絵子

#### ■組織委員会の所属部署名

広報局事業部観客の経験課 兼 広報部戦略広報課

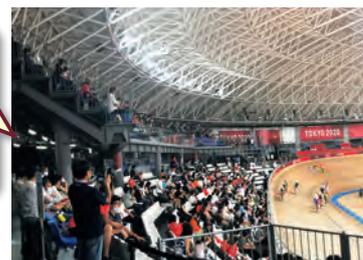
#### ■派遣期間

2016年4月～2021年9月

#### ■従事内容

「観客の経験課」という変わった名前の部署で、観客にとってより良い大会になるように企画調整を行っていました。結果的にはほぼ無観客となってしまいましたが、観客のジャーニー（旅）が最高の経験となるよう取り組んだ五年半は、かけがえのない時間でした。また最後の一年間はメディア対応の広報も兼務し、常にスピード感を求められる環境で鍛えられました。今回の派遣を通して、一つの目標に向かって多様なメンバーと協働しながら自分にできることをやり切る、という大変贅沢な経験をさせていただきました。

数少ない有観客会場となった伊豆ベロドローム。力強い拍手を送る観客の姿に感動しました。



### 友井 恵子

#### ■組織委員会の所属部署名

企画財務局アクション&レガシー部アクション&レガシー課

#### ■派遣期間

2017年4月～2019年3月

#### ■従事内容

東京2020大会を日本や世界全体に対し、スポーツ以外にも含めた様々な分野でポジティブなレガシーを残す大会として成功させるため、官公庁、競技団体、パートナー企業等の多様なステークホルダーと連携し、様々な取り組みを行いました。使用済みの携帯電話等を回収し、メダルの材料とする「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」では、全国の小学校で出張授業を行い、プロジェクトをPRしました。また、平昌パラリンピック開催時には10日間韓国に滞在し、大会関連施設や文化プログラムの視察を行う等、貴重な経験を多数することができました。

メダルプロジェクト出張授業in福岡県大牟田市立天領小学校  
写真中央はゲストのアトランタパラリンピック水泳金メダリスト（平泳ぎ）梶原紀子さんです。  
(2018年12月3日撮影)



## 荒木 涼太

### ■組織委員会の所属部署名

ゲームズ・デリバリー室 MOC企画部 大会開催計画課

### ■派遣期間

2018年4月～2021年9月

### ■従事内容

主にIOC/IPC/国/都との幹部会議の事前調整・当日運営や、組織委員会内の各計画の進捗管理等を行っていました。大会中はメインオペレーションセンター（MOC.大型モニターが多く設置された運営本部的な場所）で、大会中に発生する課題の対応のためIOC/IPCと常に連絡を取っていました。毎日予期せぬことが発生するため、チーム内での議論、上長やIOC/IPCへの報告・相談のタイミング検討等、常に柔軟に行動することが求められました。印象に残っているのは、大会期間中に世界の航空会社から「東京行の大会関係者が持つ陰性証明書の検査方法の記載に不備があるが搭乗させてよいか」等の国際電話での問い合わせにうまく答えることができず、想定問答を英語で必死に作成したことです。

新国立競技場にて



## 鈴木 江里菜

### ■組織委員会の所属部署名

大会運営局会場マネジメント部会場運営第一課会場マネジメント第一チーム

### ■派遣期間

2019年4月～2021年9月

### ■従事内容

組織委員会では、マラソン競技運営を担当しました。会場がある競技とは異なり、路上競技であるマラソンは42.195kmコース全体が競技エリアとなるため、競技を安全に実施できるよう、内部調整はもちろん、コース沿道事業者への説明や沿道で活動するスタッフ控室・競技用資機材置場の手配等、多岐にわたる調整業務を行いました。

2年半の業務を通し、たくさんの方との出会いがありました。所属元の異なる多種多様な職種の同僚を持ち、交渉事の多い業務の中で説明の仕方一つとってみても、手法が異なり、学ぶことばかりでした。この経験や出会いは、人生でかけがえのない宝です。

競技会場運営を行ったスタッフたちとの集合写真



## 武藤 玲美

### ■組織委員会の所属部署名

スポーツ局競技計画部練習会場計画課

### ■派遣期間

2019年4月～2021年9月

### ■従事内容

組織委員会では選手の練習環境を整えるために、施設の確保・契約や運営計画の策定をし、大会時には実際に練習会場の運営を行いました。選手の安全確保はもちろんですが、借用している施設の方との動線分けなども検討し、コロナ対策を行ったうえで、選手の練習環境をより良いものにすべく、ボランティアの方と協力して運営にあたりました。

特に印象に残っているのは、パラリンピックの選手がとても明るく前向きに競技をしている姿です。試合で結果を残したいという気持ちは強く感じましたが、それ以上に、練習や試合をととても楽しんでいる様子から、常に前を向いて挑戦し続けるアスリートの力強さを肌で感じる事ができました。

車いすラグビー練習風景





# 12. 資料編

## 1 市の実施体制

2013年9月の東京2020オリンピック・パラリンピック開催決定以降、順次実施体制を整え、大会気運醸成及び関連事業準備に取り組みました。

### 所管組織

#### ■所管組織の変遷

期間	所管部署
2013年9月～2015年3月	政策経営部企画政策課
2015年4月～2018年3月	文化スポーツ振興部スポーツ振興課 ※一部取組みに関しては、引き続き政策経営部企画政策課が所管
2018年4月～2022年3月	文化スポーツ振興部オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課 ※政策経営部企画政策課国際大会調整担当を兼務

#### ■所掌事務

課	所掌事務
政策経営部企画政策課 国際大会調整担当	オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業の総合調整に関すること。
文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等 国際大会推進課	(1) オリンピック・パラリンピック等国際大会関連事業の推進に関すること。 (2) オリンピック・パラリンピックその他の国際大会の気運の醸成に関すること。 (3) オリンピック・パラリンピックその他の国際大会のキャンプ地招致に関すること。 (4) 前3号に掲げるもののほか、オリンピック・パラリンピックその他の国際大会に関すること。

### 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部

2013年12月に、東京2020オリンピック・パラリンピック等に関連する事業に関する諸課題を検討し、情報共有するための庁内組織として設置し、本部会議19回、専門部会2回を開催した。

#### ■本部会議の開催経過

回数	開催日	議題
1	2013年12月20日	(1) 推進本部の設置について (2) 現在の各種大会の状況について (3) 招致に向けた当面の考え方について
2	2014年3月11日	(1) ラグビーワールドカップ2019の立候補について (2) 広域連携によるキャンプ地招致について (3) スポーツの大会招致の継続性について
3	2014年10月28日	(1) ラグビーワールドカップ2019の申請について (2) 【仮称】キャンプ地招致推進市民協議会の設置について (3) 視察結果とキャンプ地招致活動周知イベントの予定について

4	2016年 1月22日	(1) キャンプ地招致に向けた2015年度の主な取り組みについて (2) 第1回市民会議の開催結果について (3) 東京2020事前キャンプ意思表明申請書等の提出について (4) 町田市への視察状況について (5) 東京2020事前キャンプ候補地ガイド掲載登録について (6) ホスタウン登録申請について
5	2016年 5月26日	(1) 第2回市民会議の開催結果について (2) 東京2020事前キャンプガイド掲載の進捗について (3) ホスタウン登録申請について (4) 今後の全庁的な組織体制について
6	2018年 4月10日	(1) オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課の設置について (2) 2017年度の取組み及びキャンプ地招致に向けた今後の動きについて (3) 自転車競技ロードレースについて (4) 町田市オリンピック・パラリンピック等国際大会推進基本方針について
7	2018年 5月15日	(1) キャンプ地招致・受入れの進捗状況及びオリンピック等開催に向けた今後の主な動きについて (2) 大会エンブレム等オリンピック・パラリンピックに係る知的財産使用の留意点について (3) 推進本部会議の今後の進め方について
8	2018年 8月21日	(1) キャンプ地招致・受入れの進捗状況について (2) 市内で実施されるオリパラ関連事業（聖火リレー、自転車競技ロードレース）について
9	2018年 11月20日	(1) キャンプ地招致・受入れの進捗状況について (2) 自転車競技ロードレーステストイベントの実施等について (3) 各部でのオリンピック等関連事業の取組みについて
10	2019年 2月12日	(1) オリンピック等開催に向けた今後の主な動きと各部との連携について (2) 「東京2020大会開催まであと500日! 500Days to Go!」について
11	2019年 4月9日	(1) 東京2020大会コミュニティライブサイト・パブリックビューイングについて (2) オリンピック・パラリンピック聖火リレーについて
12	2019年 7月9日	(1) 東京2020大会における都市オペレーションセンターの設置について (2) 2020年度予算編成に向けたオリンピック・パラリンピック関連事業に関する情報提供について
13	2019年 11月26日	(1) 町田市内の聖火リレー実施について (2) オリンピック等関連事業における庁内応援体制の協力依頼について
14	2020年 2月4日	(1) オリンピック聖火リレー影響調査結果への対応方針について (2) 東京2020大会開催時における町田市の危機管理連携体制について
15	2020年 8月25日	(1) 2021年の大会開催に向けた準備状況について (2) 東京2020大会期間中の交通混雑緩和に向けた取組みについて
16	2020年 11月24日	(1) 2021年の大会開催に向けた準備状況について (2) 東京2020大会関連事業における新型コロナウイルス感染症対策について
17	2021年 2月16日	(1) オリンピック聖火リレー及びオリンピック自転車競技ロードレースに係る交通規制について (2) 東京2020大会関連事業における庁内応援体制の協力依頼について

18	2021年 4月27日	(1) 東京2020大会関連事業スケジュールについて (2) 東京2020大会関連事業における新型コロナウイルス感染症対策の検討状況について
19	2021年 9月28日	(1) 東京2020大会関連事業の実施結果について (2) 東京2020大会関連事業におけるレガシー事業について (3) 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議の終了について

### ■専門部会（アクション&レガシー検討部会※1）の開催経過

回数	開催日	内容
	2016年 10月19日 ※2	講演会「オリンピックレガシー・地域の未来づくりへのアプローチ」 講師：株式会社三菱総合研究所レガシー共創協議会事務局長 仲伏達也氏 ワークショップ「オリンピックレガシーを踏まえてみんなで考えよう」 ファシリテーター：NPO法人市民プロデュース理事長 平田隆之氏
1	2016年 11月30日	グループワーク 「町田市行政課題の抽出と共有について」 「オリンピック等の国際大会を行政課題解決や理想実現のツールとして活用する方策に係るアイデア出しについて」
2	2016年 12月14日	グループワーク 「(仮称) アクション&レガシープランの策定に向けた基本姿勢、取組みの方向性の検討」

※1 アクション&レガシー検討部会は、オリンピック等を通じて町田市にメリットをもたらすアイデアや組織横断的な実働につなげるため設置。スポーツ振興課長を部会長、企画政策課を事務局とし、20課27名（事務局を除く）が参加。

※2 部会開催に先立って、「オリンピックレガシー・地域の未来づくりへのアプローチ」をテーマとする講演会とワークショップを実施し、市職員38名が参加。

### ■町田市オリンピック・パラリンピック等国際大会推進基本方針

2018年6月に、町田市オリンピック等国際大会推進本部アクション&レガシー検討部会での議論を元に、東京2020オリンピック・パラリンピック等をきっかけとした地域の課題解決につなげていくための5つの基本姿勢と5つの目指す姿を基本方針として整理した。

5つの基本姿勢	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 未来を描き、先例を創造する</li> <li>2 成功を信じ、チャレンジする</li> <li>3 組織や地域を超えて、あらゆる人とともに取り組む</li> <li>4 地域主体、住民主体でまちをつくる</li> <li>5 人材育成、人材発掘で未来を担う市民が育つ</li> </ol>
5つの目指す姿	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スポーツとともに元気なまちだ～スポーツ・健康づくり・町田らしさの発信～</li> <li>2 力を合わせて未来を拓くまちだ～行政力・市民力の発揮・協働の推進～</li> <li>3 多様性と国際性こころ豊かなまちだ～文化・教育・ユニバーサルデザインの推進～</li> <li>4 安心して暮らせるやさしいまちだ～福祉・子ども・高齢者・防災の取組～</li> <li>5 魅力いっぱい発信するまちだ～シティプロモーション・観光・産業・情報～</li> </ol>

## ■町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部設置要綱

### 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部設置要綱

平成 25 年 12 月 20 日施行

政策経営部企画政策課

#### 第 1 設置

第 3 2 回オリンピック競技大会、第 1 6 回パラリンピック競技大会、ラグビーワールドカップ 2 0 1 9 その他の国内で開催される国際的な規模のスポーツの競技会（以下「オリンピック等」という。）に際し、オリンピック等に関連する事業を体系的かつ効果的に推進するため、町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部（以下「推進本部」という。）を置く。

#### 第 2 所掌事務

推進本部の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。

- (1) オリンピック等に出場し、又は出場予定である競技団体の市内のスポーツ施設の使用に係る招致に関すること。
- (2) 前号に掲げるもののほか、オリンピック等に関連する事業の実施に関すること。
- (3) オリンピック等に関連して行われる事業の協賛及び支援に関すること。
- (4) 前 3 号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

#### 第 3 組織

- 1 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。
- 2 本部長、副本部長及び本部員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

#### 第 4 本部長等

- 1 本部長は、推進本部を代表し、会務を総理する。
- 2 副本部長は、本部長を補佐し、本部長に事故があるときは、その職務を代理する。

#### 第 5 本部会議

- 1 推進本部の会議（以下「本部会議」という。）は、必要に応じ本部長が招集する。
- 2 本部長は、必要があると認めるときは、本部会議に本部員以外の者の出席を求めることができる。

#### 第 6 専門部会

- 1 推進本部に専門部会を置く。
- 2 専門部会の所掌事務は、次に掲げるとおりとする。
  - (1) 第 2 各号に掲げる事務に係る専門的な事項の調査及び検討に関すること。
  - (2) 前号に掲げるもののほか、推進本部が必要と認める事項
- 3 専門部会は、部会長及び部会員をもって組織する。
- 4 部会長及び部会員は、本部員が属する部の職員のうちから、本部長が指名する。
- 5 専門部会は、必要に応じ部会長が招集する。
- 6 部会長は、必要があると認めるときは、専門部会に部会員以外の者の出席を求めることができる。

#### 第 7 アドバイザー

- 1 市長は、必要があると認めるときは、推進本部に町田市オリンピック等関連事業推進アドバイザー（以下「アドバイザー」という。）を置くことができる。
- 2 アドバイザーは、第 2 各号に掲げる事務に関し専門的な知識及び経験を有する者のうちから、市長が委嘱する。
- 3 アドバイザーは、第 2 各号に掲げる事項に関し、必要な助言を行う。

## 第8 庶務

推進本部の庶務は、政策経営部企画政策課において処理する。

## 第9 委任

この要綱に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が推進本部に諮って定める。

附 則

この要綱は、2013年12月20日から施行する。

附 則

この要綱は、2017年4月1日から施行する。

## 別表（第3関係）

本部長 市長

副本部長 副市長

委員 教育長 町田市組織規則（平成12年町田市規則16号）第9条第1項に規定する部長及び所長  
政策経営部経営改革室長 同条第3項に規定する特命担当部長 会計管理者 市民病院事務部長  
選挙管理委員会事務局長 監査事務局長 農業委員会事務局長 教育委員会事務局学校教育部長  
教育委員会事務局生涯学習部長 議会事務局長

## 町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議

2015年8月に、オリンピック等国際大会のキャンプ地招致により、子どもたちに夢を与えるとともに、文化、スポーツ、経済、観光等を振興するため、市民・産・学・官からなる会議体を設置し、4回の開催を通じて市民の気運醸成に資する意見交換や情報提供を行った。

### ■開催経緯

回数	開催日	議題
1	2015年 8月21日	(1) 町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議について (2) 各組織団体におけるキャンプ地招致推進事業に対するアイデア出し・協力体制について (3) キャンプ地情報収集、今後の周知イベントの予定等
2	2016年 3月24日	報告事項 (1) キャンプ地招致に向けた2015年度の主な取り組みについて (2) 東京2020事前キャンプ意思表示申請書提出について (3) 町田市へのキャンプ地の視察状況について (4) ホスタウン登録申請について (5) 東京2020事前キャンプ候補地ガイド掲載登録について (6) その他 ・町田市のキャンプ地招致推進に関する提案・ご意見について ・地域が一体となったまちづくり事例紹介

3	2016年 9月26日	<p>報告事項</p> <p>(1) キャンプ地招致に向けた IF 登録状況について</p> <p>(2) 2016 年度町田市の取り組み状況について</p> <p>(3) ホストタウン概要について</p> <p>(4) リオ 2016 大会関連の取り組みについて</p> <p>(5) 2019 年度ラグビーワールドカップキャンプ地招致について</p> <p>(6) その他</p> <p>・現市民会議の拡大に関する提案・ご意見について</p>
4	2017年 3月27日	<p>報告事項</p> <p>(1) 障がい者スポーツ関連イベントの実施について</p> <p>(2) 東京 2020 大会気運醸成イベントの実施について</p> <p>(3) ラグビーワールドカップ 2019 関連事業の取り組み状況について</p> <p>(4) 町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部部会について</p> <p>(5) 来年度実施事業予定について</p> <p>・今度の市民会議開催に関する提案について</p>

## ■町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議設置要綱

### 町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議設置要綱

平成 25 年 12 月 20 日施行

政策経営部企画政策課

#### 第1 設置

町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部設置要綱（2013年12月20日施行）第1に規定するオリンピック等のキャンプ地を町田市に招致する事業（以下「キャンプ地招致事業」という。）を総合的に推進するに当たり、市民等の意見を聴取するため、町田市キャンプ地招致推進市民会議（以下「市民会議」という。）を置く。

#### 第2 役割

市民会議は、次に掲げる事項について検討し、その結果を市長に報告する。

- (1) キャンプ地招致事業の推進方法に関すること。
- (2) キャンプ地招致事業の推進に係る関係団体等との連携に関すること。
- (3) キャンプ地招致事業の進行管理に関すること。
- (4) 前3号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項

#### 第3 組織

- 1 市民会議は、委員18人以内をもって組織する。
- 2 委員は、別表に掲げる者のうちから、市長が委嘱する。

#### 第4 委員の任期

- 1 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 2 委員は、再任されることができる。

#### 第5 会長等

- 1 市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定める。
- 2 会長は、市民会議を代表し、会務を総理する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

#### 第6 会議

- 1 市民会議は、必要に応じ会長が招集する。
- 2 会長は、必要があると認めるときは、市民会議に委員以外の者の出席を求めることができる。

#### 第7 庶務

市民会議の庶務は、文化スポーツ振興部スポーツ振興課において処理する。

#### 第8 委任

この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は、会長が市民会議に諮って定める。

#### 附 則

- 1 この要綱は、2015年8月21日から適用する。
- 2 この要綱は、2021年3月31日限り、その効力を失う。

#### 別表（第3関係）

- 学識経験を有する者 2人以内
- 一般財団法人町田市体育協会の代表 2人以内
- 町田市町内会・自治会連合会の代表 1人
- 一般社団法人町田市文化協会の代表 1人
- 町田市身体障害者福祉協会の代表 1人
- 町田商工会議所の代表 1人
- 町田市商店会連合会の代表 1人
- 一般社団法人町田青年会議所の代表 1人
- 町田市ホテル旅館業協会の代表 1人
- 一般社団法人町田市観光コンベンション協会の代表 1人
- 市内の大学の代表 1人
- 市内の高等学校の代表 1人
- 市内の中学校の代表 1人
- 市内の小学校の代表 1人
- 町田市青少年健全育成地区委員会連絡協議会の代表 1人
- スポーツ推進委員 1人

#### オリンピック・パラリンピック等国際大会に関する決算額の推移

単位：千円（千円未満四捨五入）

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021※
事業費	8,867	6,624	9,766	31,078	47,225	31,514	8,766	44,299
特定財源	4,260	1,927	5,300	12,027	13,947	11,354	4,872	23,753
一般財源	4,607	4,697	4,466	19,051	33,278	20,160	3,894	20,546

※2021年度は決算見込額

## 2 主な出来事

大会開催決定以降の町田市の東京 2020 オリンピック・パラリンピック関連事業にまつわる主な出来事です（網掛けは、東京都、組織委員会、国など町田市以外の出来事や動きです。）。

2013年（平成25年）	
9月7日	2020年オリンピック・パラリンピック競技大会の東京開催が決定（日本時間9月8日）
9月9日	町田市への事前キャンプ招致の意向を表明
9月13日	平成25年第3回町田市議会定例会総務常任委員会でキャンプ招致について行政報告
12月20日	第1回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
2014年（平成26年）	
1月1日	東京都がスポーツ振興局をオリンピック・パラリンピック準備局に組織改正
1月24日	日本オリンピック委員会（JOC）と東京都が一般財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会を設立（2015年1月公益財団法人に移行）
3月11日	第2回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
5月3日	町田シバヒロオープニングイベントに招致活動PRブースを出展（5日にも実施）
8月12日	生涯学習センターで東京1964大会50周年記念パネル展を開催（～18日）
10月4日	町田オクトーバーフェスト2014にPRブースを出展
10月6日	市庁舎で東京1964大会50周年記念パネル展を開催（～17日）
10月28日	第3回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
11月2日	FC町田ゼルビアホームゲームでマッチデーパートナーとしてPR活動を実施
11月3日	第41回町田市障がい者スポーツ大会で東京1964大会50周年記念パネルを展示
11月16日	市民協働フェスティバル「第8回まちカフェ」にPRブースを出展
12月16日	全日本大学サッカー選手権大会にPRブースを出展
12月28日	ジャパンラグビートップリーグキャノンイーグルス戦にPRブースを出展
2015年（平成27年）	
1月18日	町田サッカーフェスティバル2015でPR活動を実施
2月5日	ブラジルオリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
2月18日	さがまち学生クラブによる東京2020大会企画提案発表会開催
2月27日	組織委員会が東京2020大会開催基本計画を提出
3月20日	原田宗彦氏講演会「オリンピック・パラリンピックキャンプ地招致がもたらすもの」を開催
7月6日	南アフリカ大使館 モハウ N. ペコ特命全権大使が町田市を訪問
7月10日	市立中央図書館に南アフリカ関連書籍の特集コーナーを設置（～8月12日）
7月13日	市立中学校で南アフリカ料理の給食を提供（7月中に市立小学校でも実施）
7月18日	南アフリカを舞台とした映画「インビクタス」無料上映会を開催（7月23日にも開催）
7月21日	自由研究おうえんプロジェクト「オリンピックを調べよう」パネル等展示（～8月7日）
7月24日	東京2020大会公式エンブレム公表（9月1日に組織委員会が使用中止を決定）
7月26日	南アフリカのスーパーラグビー所属チーム「ブルー・ブルズ」ウェルカムパーティを開催
7月31日	市立陸上競技場でブルー・ブルズとキャノンイーグルスの国際親善試合開催
8月21日	第1回町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議を開催
9月20日	ラグビーワールドカップ2015（日本v南アフリカ）のパブリックビューイングを開催

10月 6日	英国オリンピック委員会による市内スポーツ施設視察
10月 15日	組織委員会へ「Tokyo2020 事前トレーニング（キャンプ）情報提供並びにキャンプ地決定時における受け入れに係る意思表示申請書」を提出
10月 26日	ブラジルオリンピック委員会による市内大学施設視察
10月 30日	全国知事会スポーツ施設データベースサイト「Sports Camp Japan」で市の施設情報を公表
11月 5日	英国パラリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
11月 10日	ラグビーワールドカップ2019（RWC2019）組織委員会による市内スポーツ施設等視察
12月 2日	日本車いすバスケットボール連盟による市内スポーツ施設等視察
12月 4日	町田市ゆかりのオリンピック士佐礼子氏講演会「私とオリンピック」を開催
12月 5日	第43回こどもマラソン大会で東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を実施
<b>2016年（平成28年）</b>	
1月 5日	公益財団法人日本ラグビーフットボール協会による市内スポーツ施設等視察
1月 22日	第4回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
1月 23日	バドミントン日本リーグ町田大会を市立総合体育館で開催
2月 18日	中国・北京体育大学による市内スポーツ施設等視察
3月 16日	ノルウェーオリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
3月 24日	第2回町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議を開催
4月 25日	東京2020大会公式エンブレム公表（野老朝雄氏デザイン）
5月 22日	生涯学習センターでリオパラリンピック日本代表候補の石川信介選手、鹿沼由理恵選手の講演会を開催
5月 26日	第5回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
6月 14日	南アフリカのホストタウンに登録
6月 19日	マレーシア男子サッカーU-22代表の強化合宿（町田市遠征）を受入れ（～20日）
7月 1日	南アフリカ大使館 ベリル・ローズ・シスル特命全権大使が町田市を訪問
7月 3日	第21回関東パラ陸上競技大会で観客参加型イベントとしてパラリレーレースを開催
7月 9日	町田市立博物館で「インドネシアファッションー海のシルクロードで花開いた民族服飾の世界ー」を開催（～8月28日）
7月 16日	「町田から世界へ！リオ出場アスリート壮行会」を開催
7月 16日	「みんな集まれ！シバヒロ夏まつり」に南アフリカPRブースを出展（～18日）
7月 18日	町田ダリア園でネルソン・マンデラ国際デー「67分間の奉仕活動」を実施
7月 25日	子どもセンターまあちで南アフリカフード親善大使による南アフリカ料理教室を開催
8月 5日	リオデジャネイロ2016オリンピック開会式
8月 5日	東京2020組織委員会「TOKYO 2020 Pre-Games Training Camps Guide」で市の施設情報を公表
8月 12日	「がんばれ！関根花観選手！パブリックビューイング」を開催
8月 14日	「がんばれ！大迫傑選手！パブリックビューイング」を開催
8月 21日	「東京2020ライブサイト in 2016ーリオから東京へー」上野恩賜公園会場に桜美林大学ソングリーディング部 CREAM が出演（8月20日には国営昭和記念公園会場に町田市観光コンベンション協会による町田市PRブースを出展）

8月21日	リオデジャネイロ2016オリンピック閉会式
9月4日	「町田から世界へ！リオ五輪出場アスリート地元報告会」を開催
9月7日	リオデジャネイロ2016パラリンピック開会式
9月15日	鹿沼由理恵選手がリオ2016パラリンピック自転車競技女子タンデム個人ロードタイムトライアルで銀メダルを獲得
9月18日	「東京2020ライブサイト in 2016ーリオから東京へー」上野恩賜公園会場にぞっこん町田'98が出演、国営昭和記念公園会場に町田市観光コンベンション協会による町田市PRブースを出展
9月18日	リオデジャネイロ2016パラリンピック閉会式
9月26日	第3回町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議を開催
10月1日	東京2020参画プログラム開始
10月19日	市職員を対象に講演会「オリンピックレガシー・地域の未来づくりへのアプローチ」及びワークショップ「オリンピックレガシーを踏まえてみんなで考えよう」を開催
10月21日	鹿沼由理恵選手市民栄誉彰贈呈式及び銀メダル報告会を開催
10月23日	ベトナム競泳代表が市内で強化合宿を実施（～28日）
11月5日	ブラインドサッカードリームマッチ2016を市立総合体育館で開催
11月30日	町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部第1回アクション&レガシー部会を開催
12月7日	RWC2019公認チームキャンプ地に立候補
12月14日	町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部第2回アクション&レガシー部会を開催
<b>2017年（平成29年）</b>	
1月14日	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー歓迎セレモニーを開催
1月20日	まちだサポーターズ研修会として岡田武史氏講演会「スポーツを生かした地域活性化とスポーツボランティアの役割」を開催
1月27日	インドネシアと日本のパラバドミントン代表合同合宿を市内で開催（～2月2日）
2月1日	市立町田第一中学校での町田市中学校体育研究会でパラリレーレースを実施
2月11日	トライ・スポーツ！まちだ2017を市立総合体育館で開催
3月21日	イタリアオリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
3月27日	第4回町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議を開催
3月30日	イングランドブラインドサッカーチームによる市内スポーツ施設等視察
4月1日	「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」開始（～2019年3月31日）
4月15日	パラバドミントン日本代表合宿を市内で開催（～17日）
4月18日	カナダパラリンピック委員会・カナダ車椅子バスケットボール連盟による市内スポーツ施設等視察
4月26日	南アフリカ大使館主催「FREEDOM DAY」レセプションに参加
5月28日	連続シンポジウム「ラグビーワールドカップ2019を町田市から盛り上げよう！（第1回）」を開催（8月27日に2回目を開催）
6月24日	東京ラグビーファンゾーン2017にキャンプ招致PRブース等を出展
7月1日	子どもセンターぱおで南アフリカ料理教室やタグラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催（ただ09日、ぱあん16日、つるっこ22日、まあち24日）
7月3日	市庁舎で「南アフリカを知ろう！～東京2020オリンピック・パラリンピック大会ホストタウン交流事業～」展を開催（～14日）

7月18日	中心市街地でネルソン・マンデラ国際デー「67分間の奉仕活動」を実施、町田第一小で南アフリカ料理給食交流を実施
7月20日	7人制ラグビー女子日本代表が市内で強化合宿を実施（～23日）
7月24日	「東京五輪音頭-2020-」発表
8月5日	キャノンイーグルスファン感謝デー（キャノンスポーツパーク）にラグビー体験等ブースを出展
8月7日	スロベニアオリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
8月25日	「LET'S ENJOY パラスポーツの日～楽しもう！パラスポーツ～」を東京ガス神奈川西支店の共催で開催
9月4日	オーストラリアパラリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
9月7日	日本初となる「ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会 2017」を市立総合体育館で開催（～10日）
10月28日	ジャパンラグビーチャレンジマッチ 2017（日本代表v世界選抜）のパブリックビューイングを開催
11月12日	キラリ☆まちだ祭に東京 2020 大会 1000 日前イベントブースを出展
12月11日	全国の小学生による大会公式マスコット投票開始
12月19日	インドネシアパラリンピック委員会会長との事前キャンプ招致交渉のため、副市長がインドネシアを訪問（～22日）
<b>2018年（平成30年）</b>	
1月中旬	市公用車で東京 2020 オリンピック・パラリンピック特別仕様ナンバープレート使用開始
1月23日	インドネシア、日本、韓国のパラバドミントン代表合同合宿を市内で開催、インドネシアパラリンピック委員会会長が町田市を訪問し、合宿を視察（～26日）
1月26日	「町田市とオリンピック・パラリンピック展」を市庁舎で開催（～31日）
2月11日	トライ・スポーツ！まちだ 2018 を市立総合体育館で開催
2月25日	ホストタウンサミット（主催：内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局）で「日本初パラバドミントン国際大会におけるボランティア」をテーマに市職員が登壇
2月28日	大会公式マスコットデザイン決定
3月18日	「東京 2020 ライブサイト in2018」日比谷会場に金井獅子舞保存会、函師郷土芸能文化保存会が出演、町田市観光 PR ブースを出展
3月24日	IBSA ブラインドサッカーワールドグランプリ 2018 参加国に対する事前キャンプ地マッチングイベントに参加
4月1日	文化スポーツ振興部にオリンピック・パラリンピック等国際大会推進課を設置
4月1日	町田市文化プログラム開始（～2021年9月30日）
4月10日	第6回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
4月10日	東京 2020 オリンピック聖火リレーコンセプト「Hope Lights Our Way／希望の道を、つなごう。」発表
4月20日	町田市がアフリカ地区代表のRWC2019 公認チームキャンプ地に内定
5月15日	インドネシアパラリンピック委員会とインドネシアパラバドミントン代表事前キャンプに関する覚書をインドネシアにて締結、インドネシア空手連盟（FORKI）を訪問
5月15日	第7回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
5月25日	市庁舎で東京 2020 大会気運醸成ライトアップを開始

6月23日	ラグビーパブリックビューイング in 調布に公認チームキャンプ地 PR ブースを出展
6月24日	澤野新一朗氏講演会「虹の国・南アフリカ共和国－神々の花園 地球上最大の野生の花畑に暮らして」を開催
6月25日	中国オリンピック委員会関係者による市内スポーツ施設等視察
7月12日	東京2020オリンピック聖火リレー各都道府県日程発表
7月16日	子どもセンターぱおで南アフリカ料理教室やタグラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催（つるっこ21日、ばあん22日、ただON25日、まあち29日）
7月17日	市庁舎食堂で南アフリカフェア（南アフリカ料理メニュー）を実施（～19日）
7月18日	町田ダリア園でネルソン・マンデラ国際デー「67分間の奉仕活動」を実施、町田第三小で南アフリカ料理給食交流を実施、市庁舎で南アフリカカラーライトアップ実施
7月18日	東京2020オリンピック競技大会セッションスケジュール発表
7月19日	RWC2019 組織委員会と公認チームキャンプ地契約を締結
7月22日	東京2020 マスコット「ミライトワ」「ソメイティ」デビュー
7月24日	東京2020オリンピック2年前市庁舎ライトアップを実施
7月26日	中国オリンピック委員会による市内スポーツ施設等視察
7月26日	市庁舎でネルソン・マンデラ月間にちなんだ献血を実施
8月7日	チャレンジマッスル2018でパラスポーツ体験イベントを開催
8月9日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレースのコース（町田市を含む4都県17市町村を通過）が決定
8月14日	FORKIによる市内スポーツ施設等視察（～16日）、市内での事前キャンプ実施を合意（15日）
8月18日	RWC2019 アフリカ地区代表がナミビアに決定
8月21日	第8回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
8月25日	東京2020パラリンピック2年前市庁舎ライトアップを実施
8月27日	FORKIとインドネシア空手代表事前キャンプに関する覚書を締結
8月31日	市立陸上競技場でのトップリーグ開幕戦に公認チームキャンプ地 PR ブースを出展（11月10日にも出展）
9月9日	第32回フェスタまちだ2018にラグビー体験等ブースを出展
9月10日	インドネシアバドミントン連盟による市内スポーツ施設等視察
9月22日	さがみパラフェスタ in 相模大野にパラバドミントン体験ブースを出展
9月26日	東京2020大会ボランティア・東京2020都市ボランティアの募集開始（～12月21日）
9月26日	「ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会2018」を市立総合体育館で開催（～30日）
10月18日	東京2020パラリンピック競技大会セッションスケジュール発表
10月22日	南アフリカスポーツ連盟・オリンピック委員会（SASCOC）による市内スポーツ施設等視察（～23日）
11月3日	リポビタンDチャレンジカップ2018（日本vsニュージーランド）のパブリックビューイングをカリヨン広場で開催
11月4日	ブラインドサッカーチャレンジカップ2018を市立総合体育館で開催
11月5日	東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアーを市庁舎で開催（～13日）

11月 8日	中国オリンピック委員会とオリンピック 4 競技（卓球・バレーボール・バドミントン・水泳）の事前キャンプに関する覚書を締結
11月 11日	第 13 回総合健康づくりフェアにラグビー体験ブース等を出展
11月 20日	第 9 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
11月 22日	東京 2020 テストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」の開催決定
11月 26日	SASCOC 会長による市内スポーツ施設等視察（～27 日）
11月 29日	SASCOC と南アフリカオリンピック競技事前キャンプに関する覚書を締結
12月 2日	「第 12 回まちカフェ」にオリンピック 600 日前 PR ブースを出展、まちだ〇ごと大作戦特設ブースでは「さあ、一緒に。南アフリカへ～ホストタウン“南アフリカ”応援 PJT」実施
12月 17日	インドネシアバドミントン協会とインドネシアバドミントン代表事前キャンプに関する覚書をインドネシアにて締結
12月 20日	まちだサポーターズ研修会として村上晃一氏、畑中勇介氏を講師に迎え「ゴールデン・スポーツイヤーズを楽しむために！」を開催
12月 21日	東京 2020 パラリンピック聖火リレーコンセプト「Share Your Lights/あなたは、きっと、誰かの光だ。」発表
<b>2019 年（平成 31 年／令和元年）</b>	
1月 25日	東京 2020 テストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」コースサポーター（ボランティア）募集開始（～3 月 31 日）
1月 28日	「東京 2020 大会に向けて」展を市庁舎で開催（～2 月 8 日）
2月 11日	トライ・スポーツ！まちだ 2019 を市立総合体育館で開催
2月 12日	第 10 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
3月 2日	小山市民センターまつりに自転車ロード PR ブースを出展
3月 9日	まちだ〇ごと大作戦「町田のいだてん大応援！」を市庁舎で開催
3月 12日	東京 2020 オリンピックスポーツピクトグラム発表
3月 12日	東京 2020 オリンピック 500 日前市庁舎ライトアップを実施
3月 20日	東京 2020 オリンピック聖火リレーエンブレム、トーチ、公式アンバサダー発表
3月 25日	東京 2020 パラリンピック聖火リレー概要、エンブレム、トーチ発表
4月 4日	南アフリカ大使館関係者が市内スポーツ施設等を視察
4月 6日	2019 町田さくらまつり尾根緑道会場に自転車ロード体験ブースを出展（～7 日）
4月 9日	第 11 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
4月 13日	東京 2020 パラリンピックスポーツピクトグラム発表
4月 13日	東京 2020 パラリンピック 500 日前市庁舎ライトアップを実施
4月 16日	東京 2020 オリンピック競技大会の競技スケジュール（種目実施日程）の発表
4月 17日	東京 2020 テストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」地元説明会を堺市民センターで開催（21 日小山市民センター・小山町第三町内会）
4月 26日	インドネシアのホストタウンに登録
5月 5日	こどもスポーツチャレンジ 2019 にラグビーPR ブースを出展
5月 9日	東京 2020 オリンピック観戦チケットの第 1 次抽選申込受付開始
5月 19日	第 6 回チャレンジ防災に自転車ロード PR ブースを八王子市とともに出展

5月26日	とっておきの音楽祭 in Machida 2019 に東京 2020 大会等 PR ブースを出展
6月1日	東京 2020 オリンピック聖火リレーの都内区市町村の巡回順・セレブレーション会場発表
6月17日	JICA 連携事業「見て、聞いて、交流して、南アフリカ共和国とナミビアを知ろう！」を市庁舎で開催
6月20日	東京 2020 オリンピック 400 日前を記念して JR 町田駅にカウントダウンボードを設置
6月29日	東京 2020 テストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」コースサポーター活動説明会を開催
6月29日	神田外語大学での東京 2020 ホストタウンボランティア養成講座で「東京 2020 大会に向けた町田市の取り組みについて」をテーマに市職員が登壇
7月1日	都内を走る東京 2020 オリンピック聖火ランナーの募集開始（～8月25日）
7月6日	堺市民センターまつりに自転車ロード体験ブースを出展
7月7日	子どもセンターぱおで南アフリカ料理教室やタグラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催（ぱあん 20 日、ただ ON24 日、まあち 25 日、つるっこ 29 日）
7月9日	第 12 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
7月11日	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース都内コース 8 市合同記者発表を開催（調布市文化会館たづくり）
7月16日	市庁舎食堂で南アフリカフェア（南アフリカ料理メニュー）を実施（～18日）
7月18日	多摩境駅前でネルソン・マンデラ国際デー「67 分間の奉仕活動」を実施、相原小で南アフリカ料理給食交流を実施、市庁舎で南アフリカカラーライトアップ実施
7月19日	駐日ナミビア特命全権大使が町田市を訪問
7月20日	ラグビートップリーグカップ戦に公認チームキャンプ地 PR ブースを出展（8月3日キヤノンイーグルス練習試合にも出展）
7月21日	東京 2020 大会テストイベント「Ready Steady Tokyo-自転車ロード-」開催
7月21日	「自転車ロードレースを応援しよう!! 2019 in 町田 堺」を JA 町田堺支店で開催
7月26日	インドネシアバドミントン協会による市内スポーツ施設等視察
7月26日	市庁舎でネルソン・マンデラ月間にちなんだ献血を実施
7月27日	ラグビーパブリックビューイング in TOKYO に公認チームキャンプ地 PR ブースを出展
7月30日	町田シバヒロにコカ・コーラ社オリンピック聖火リレーデザイン自販機を設置
8月6日	チャレンジマッスル 2019 にラグビー体験ブースを出展
8月13日	オリパラ 1 年前パネル展示「オリンピック・パラリンピックムーブメント展」&東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアーを市庁舎で開催（～23日）
8月22日	東京 2020 パラリンピック観戦チケットの第 1 次抽選申込受付開始
8月26日	インドネシア空手代表チームの 1 年前プレキャンプを市内で開催（～9月4日）
9月1日	村上晃一氏講演会「ラグビーワールドカップ 2019 日本大会へ向けて」を開催
9月8日	ザフェスタ・栄通りで鶴川中吹奏楽部がナミビア国歌を演奏
9月9日	インドネシアパラリンピック委員会会長が町田市を訪問
9月15日	第 33 回フェスタまちだ 2019 にラグビー体験等ブースを出展
9月15日	マラソン日本代表選考レース MGC のパブリックビューイングを市立陸上競技場でまちだ〇ごと大作戦「まちだマラソン（いだてん）応援プロジェクト」と同時開催

9月16日	インプリントまちだ展 2020 プレ・イベントとしてインドネシア人アーティストアグン・プラボウォ氏が来日し、市立国際版画美術館でトークショーを開催
9月17日	「ラグビーワールドカップ 2019™日本大会開催中！」を市庁舎で開催（～27日）
9月24日	町田市文化プログラム「Machida×South Africa 1枚の写真を通じて繋がる まちだと南アフリカの風景・人がクロスするアート写真展」を市民病院で開催（～25日、10月1日～11日に市庁舎でも開催）
9月28日	RWC2019（日本vアイルランド、南アフリカvナミビア）のパブリックビューイング開催
10月1日	RWC2019 ナミビア代表の公開練習見学とラグビー体験会を実施
10月2日	RWC2019 ナミビア代表が小野路宿里山交流館で地域交流イベント（日本文化体験）を実施
10月4日	RWC2019 ナミビア代表が町田リス園で地域交流イベントを実施
10月6日	RWC2019（ニュージーランドvナミビア）のパブリックビューイング開催
10月16日	東京 2020 オリンピックのマラソン・競歩の競技会場の札幌への変更計画公表（IOC）
10月18日	町田市小学校連合体育大会プレ大会にミライトワ・ソメイティがゲスト出演
10月19日	鶴川市民センターまつりにパラバドミントン PR ブースを出展
10月20日	RWC2019（日本v南アフリカ）のパブリックビューイングを開催
11月2日	障がい者スポーツ大会にパラバドミントン PR ブースを出展
11月4日	インドネシアパラバドミントン代表チームの1年前プレキャンプを市内で開催（～11日）
11月10日	第14回総合健康づくりフェアにパラバドミントン体験ブースを出展
11月22日	東京 2020 パラリンピック聖火リレーの都内自治体ルート概要を発表
11月26日	第13回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
11月30日	新国立競技場竣工
12月1日	市民協働フェスティバル「第13回まちカフェ！」に東京 2020 大会 PR ブースを出展、東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を実施
12月8日	多摩境駅周辺テロ対策訓練に自転車ロード PR ブースを出展
12月8日	ブラインドサッカーチャレンジカップ 2019 を市立総合体育館で開催
12月13日	中国オリンピック委員会とバドミントン競技の事前キャンプに関する契約書を締結
12月17日	都内を走る東京 2020 パラリンピック聖火ランナーの募集開始（～2月25日）
12月17日	東京 2020 オリンピック聖火リレーの都内区市町村ルート詳細の公表、東京都聖火リレー実行委員会におけるオリンピック聖火ランナー当選者の公表
<b>2020年（令和2年）</b>	
1月13日	二十祭まちだ 2020 会場に東京 2020 大会開催記念フォトブースを設置
1月25日	TAMA サイクルフェスティバルをオリンピック自転車ロード通過自治体都内 8 市で開催、町田市観光 PR ブースを出展（調布駅前広場）
1月31日	インドネシアバドミントン協会と事前キャンプに関する契約書を締結
2月3日	東京 2020 オリンピック聖火リレーボランティア募集開始（大会延期により3月25日に募集中止）
2月3日	「東京 2020 オリンピック・パラリンピックがやってくる」を市庁舎で開催（～14日）
2月4日	第14回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
2月8日	さんあーるひろば in 町田シバヒロに東京 2020 大会 PR ブースを出展
2月11日	エンジョイ☆スポーツまちだ 2020 でパラスポーツ体験会を実施

2月11日	市立国際版画美術館でインドネシア伝統楽器「アングルン」のワークショップを実施
2月15日	東京2020オリンピック聖火リレーリハーサルを羽村市、国立市、八王子市で実施
2月16日	第1回東京都市町村ボッチャ大会を武蔵野総合体育館で開催
3月6日	共生社会ホストタウンに登録
3月6日	南アフリカのショッピングモールで開催の「Japanese Cultural Expo」で南アフリカのホストタウンの一つとして町田市を紹介（～8日）
3月12日	ギリシャ・オリンピアにてオリンピック聖火を採火
3月13日	東京都聖火リレー実行委員会におけるオリンピック聖火ランナーの走行区市町村の公表
3月15日	市で確保した開催都市向けオリンピック観戦チケットの市民向け抽選販売受付開始（大会延期により3月25日に受付中止）
3月20日	オリンピック聖火が宮城県東松島市の航空自衛隊松島基地に到着
3月24日	安倍内閣総理大臣とIOCバッチャ会長が電話会談 東京2020大会を概ね1年程度延期することを軸として、具体的に検討していくことで一致、大会延期に伴う東京2020オリンピック聖火リレーの延期発表
3月30日	東京2020大会新日程決定
4月7日	東京都に緊急事態宣言発出（～5月25日）
6月9日	「インプリントまちだ展2020 すむひと⇄くるひと-「アーティスト」がみた町田-」を市立国際版画美術館で開催（～9月13日）
6月10日	組織委員会がオリンピック競技大会の位置づけ、原則、ロードマップを公表
6月18日	東京2020オリンピック開幕400日前を記念して、Twitter（町田市オリンピック・パラリンピック情報）の運用を開始
7月1日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コース8市による大会1年前PRポスターをコース最寄り駅の沿線の電車内広告として掲出（～31日）
7月8日	組織委員会がパラリンピック競技大会の位置づけ、原則、ロードマップを公表
7月17日	組織委員会がオリンピック競技大会の競技スケジュールを公表
7月17日	市庁舎食堂で南アフリカフェア（南アフリカ料理メニュー）を実施
7月18日	市庁舎で南アフリカカラーライトアップ実施
7月20日	市庁舎で「東京2020オリンピック開幕1年前パネル展示」を開催（～8月7日）
7月23日	東京2020オリンピック1年前市庁舎ライトアップを実施 東京2020オリンピック・パラリンピックカウントダウンボードをJR町田駅に再設置
8月3日	組織委員会がパラリンピック競技大会の競技スケジュールを公表
8月17日	市庁舎食堂でインドネシアフェア（インドネシア料理メニュー）を実施
8月18日	市庁舎で「東京2020パラリンピック開幕1年前パネル展示」を開催（～28日）
8月20日	「町田市×インドネシア共和国 ホストタウンフレーム切手」発売開始
8月24日	東京2020パラリンピック1年前市庁舎ライトアップを実施
8月25日	第15回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
9月4日	東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議を国・東京都・組織委員会が設置（2021年4月28日までに計7回開催）
9月4日	インドネシア代表（スルヨ選手・ジギ選手）から市民へのメッセージ動画を公開

9月 5日	市立国際版画美術館でインドネシアフェアを開催（～6日）、日本郵便㈱から市及びインドネシア大使館へのホストタウン フレーム切手贈呈式を実施
9月 21日	ふれあいもみじ館で鹿沼由理恵氏講演会を開催
9月 23日	市庁舎で「東京 2020 アートポスター展（オリンピックテーマ作品）」を開催（～10月2日）
9月 28日	組織委員会が新たな日程での聖火リレー実施概要を発表
10月 24日	第 22 回ゆうゆう版画美術館まつりに東京 2020 大会 PR ブースを出展（～25日）
10月 26日	市庁舎で「東京 2020 アートポスター展（パラリンピックテーマ作品）」を開催（～11月6日）
11月 1日	南多摩3市（稲城市、多摩市、町田市）観光連携事業観光サイクルツアーとして「プロチーム選手と東京 2020 大会ロードレースコースを巡ろう！」を開催
11月 1日	町田市総合健康づくり月間 2020 に「オリンピック自転車ロードレースのコースを歩こう」企画で参加（市ホームページにウォーキングマップを公開）
11月 16日	町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲートで「東京 2020 聖火リレートーチ巡回展示」を開催（～17日）
11月 24日	第 16 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
11月 28日	せりがや冒険遊び場「杜のるつぼう」でガムラン演奏を実施
12月 2日	東京オリンピック・パラリンピック競技大会における新型コロナウイルス感染症対策調整会議が中間整理を公表
12月 15日	東京 2020 オリンピック聖火リレーの 2021 年実施区市町村・セレブレーション会場発表
12月 19日	Sweets Café MACHIDA にホストタウン PR ブースを出展
12月 19日	市立総合体育館生誕 30 周年記念感謝祭で東京都パラリンピック体験プログラム「NO LIMITS CHALLENGE」を実施
<b>2021 年（令和 3 年）</b>	
1月 6日	オリンピックイヤー記念市庁舎ライトアップを実施（13 日にパラリンピックイヤー記念市庁舎ライトアップも実施）
1月 7日	町田駅ペDESTリアンデッキや原町田大通りに東京 2020 大会開催 PR の横断幕、タペストリー、壁面装飾、街灯フラッグを設置（～9月15日）
1月 8日	多摩境駅前広場にオリンピック自転車競技ロードレース開催 PR の柱巻装飾を設置（～9月13日）
1月 8日	東京都に緊急事態宣言発出（～3月21日）
2月 1日	東京 2020 オリンピック聖火リレーボランティア募集開始（～4月30日）
2月 8日	子どもたち等からインドネシア・南アフリカ代表への応援メッセージ動画を公開
2月 15日	町田ゆかりのアスリート（水田光夏選手・寺西一選手）から子どもたちへのメッセージ動画を公開
2月 16日	第 17 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
2月 21日	オンライン配信（町田薬師池公園四季彩の杜西園ウェルカムゲートにて公開収録）で「パラスポーツトークライブ from 町田」を開催
3月 2日	東京 2020 オリンピック聖火リレーの都内区市町村詳細ルート発表
3月 8日	まちだサステナビリティフェスに東京 2020 大会 PR ブースを出展（～28日）
3月 17日	東京 2020 オリンピック・パラリンピックマスコット「ミライトワ」「ソメイティ」が子ども発達センター、子どもセンターまあち、ばあんを訪問（20 日には子どもセンターつるっこ、ただ ON、ばおを訪問）

3月20日	組織委員会が海外観客の日本への受入れ断念を発表
3月21日	まちだサステナビリティフェスで水田光夏選手・関根花観氏によるトークショーを開催
3月25日	東京2020オリンピック聖火リレーが福島県からスタート
4月10日	オリンピック自転車競技ロードレースの市内開催に関する地域説明会を堺市民センターで開催（14日堺市民センター、17日小山市民センター）
4月12日	東京都にまん延防止等重点措置適用（～4月24日）
4月12日	市庁舎で「東京2020オリンピック100日前記念展示」を開催（～23日）
4月14日	市内聖火リレールート沿道に東京2020オリンピック聖火リレー開催PRの横断幕を設置（～7月10日）
4月14日	東京2020オリンピック100日前市庁舎ライトアップを実施
4月15日	オリンピック自転車競技ロードレース開催に伴う交通規制情報公表
4月25日	東京都に緊急事態宣言発出（～6月20日）
4月27日	第18回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催
5月23日	オリンピック自転車競技ロードレースのコースサポーター（ボランティア）リーダー研修会を開催
5月25日	オリンピック聖火リレー開催に伴う都内交通規制情報公表
6月1日	東京2020大会に向けた練習スケジュール等の調整の結果、インドネシアのオリンピックバドミントン・空手、南アフリカのオリンピック陸上競技、中国のオリンピックバドミントンの事前キャンプを市内で実施しないことを公表
6月1日	オリンピック聖火リレー開催に関する地域説明会を木曽山崎センターで開催（3日町田市民フォーラム、8・13日市庁舎、12日子ども創造キャンパスひなた村）
6月19日	オリンピック自転車競技ロードレースのコースサポーター活動説明会を開催
6月21日	東京都にまん延防止等重点措置適用（～7月11日）
6月21日	IOC・IPC・組織委員会・都・国による五者協議で、観客数の上限を「収容人数の50%で1万人以内」とすること、観客以外の人流対策としてライブサイト及びパブリックビューイングの中止又は規模縮小の方向で検討すること等に合意
6月21日	東京2020オリンピック自転車競技ロードレース都内コースを巡るオンラインイベント「東京8市Smile Road Project」を開催（～7月18日）
6月24日	インドネシアパラリンピック委員会とパラバドミントン競技の事前キャンプに関する契約書を締結
6月29日	都内の東京2020オリンピック聖火リレーについて、7月11日までの公道走行中止を発表（大島町以外の島しょ部を除く、各日のセレブレーション会場で点火セレモニーを実施）
6月29日	コミュニティライブサイト（7月24・25日市立小山白山公園、9月5日市立総合体育館）及び市庁舎でのパブリックビューイングの開催中止を決定
7月2日	和光大学ポプリホール鶴川で「東京2020アートポスター展」を開催（～12日）
7月8日	五者協議で東京・神奈川・千葉・埼玉会場の無観客開催を決定
7月8日	町田市教育委員会が東京2020大会における学校連携観戦プログラムへの参加中止を決定
7月8日	中央図書館にオリンピック・パラリンピック特集コーナー設置（～8月11日）
7月9日	組織委員会が東京2020オリンピック自転車競技（ロード）コース沿道での観戦自粛を決定

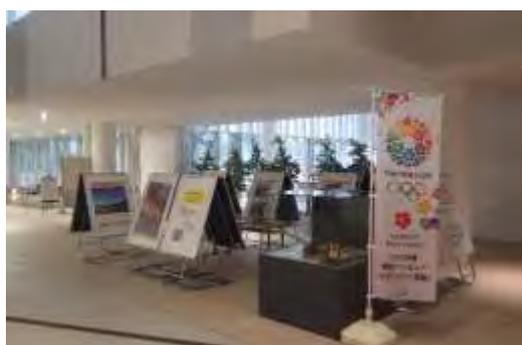
7月 9日	東京 2020 オリンピック聖火都内到着式を駒沢オリンピック記念公園で開催
7月 9日	町田シバヒロで東京都初日の東京 2020 オリンピック聖火リレー（点火セレモニー）を開催
7月 12日	東京都に緊急事態宣言発出（～9月30日）
7月 18日	町田市民ホールで「東京 2020 アートポスター展」を開催（～30日）
7月 22日	市庁舎に町田市ゆかりのアスリート応援懸垂幕を設置（～9月11日）
7月 23日	東京 2020 オリンピック開会式
7月 23日	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース競技運営の最終打合せを実施
7月 23日	東京 2020 オリンピック開幕記念市庁舎ライトアップを実施
7月 24日	東京 2020 オリンピック自転車競技男子ロードレース開催
7月 24日	東京 2020 オリンピック自転車競技女子ロードレース開催
8月 1日	子どもセンターぱお・子ども創造キャンパスひなた村でまちだの火種火起こしイベント開催（2日かがやき・まちだリス園、3日ひかり療育園、4日南大谷子どもクラブ MO こもこ、5日クラフト工房 La Mano、7日小山子どもクラブさん・三輪子どもクラブ MIWA～GO・木曽子どもクラブきそっち・子どもセンターつるっこ・子どもセンターただ ON、8日子どもセンターぱあん・子どもセンターまあち）
8月 3日	チャレンジマッスルに東京 2020 大会 PR ブースを出展
8月 8日	東京 2020 オリンピック男子マラソン出場の大迫傑選手応援イベントを市立金井中で開催 東京 2020 パラリンピック射撃出場の水田光夏選手オンライン壮行会を開催
8月 8日	東京 2020 オリンピック閉会式
8月 12日	東京 2020 パラリンピック聖火フェスティバルスタート
8月 16日	IPC・組織委員会・都・国による四者協議で、東京・埼玉・千葉会場の無観客開催を決定
8月 19日	インドネシアパラバドミントン代表事前キャンプ受入れ（～26日）
8月 20日	東京 2020 パラリンピック聖火（まちだの火）の採火式を市立総合体育館で開催
8月 20日	東京 2020 パラリンピック聖火の都内集火式および全国集火式開催
8月 22日	インドネシアパラバドミントン代表事前キャンプの公開練習見学を実施（～23日）、オンライン配信を活用した交流を実施
8月 24日	和光大学ポプリホール鶴川でインドネシアガムラン×星空コンサート開催
8月 24日	東京 2020 パラリンピック開会式
9月 1日	東京 2020 パラリンピックバドミントン競技開催（～5日）
9月 5日	東京 2020 パラリンピック閉会式
9月 13日	5人制サッカー日本代表（高田敏志監督・寺西一選手・佐藤大介選手）が市長を表敬訪問
9月 24日	まちだサポーターズと東京 2020 大会を振り返る会を開催
9月 27日	水田光夏選手が市長を表敬訪問
9月 28日	第 19 回町田市オリンピック等国際大会関連事業推進本部会議を開催

### 3 町田市におけるオリンピック・パラリンピック関連の取り組み

東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前キャンプ招致及び大会開催に向けて、本編で紹介した 2020 年度、2021 年度以外にも、さまざまな団体や多くの市民とともに気運醸成等の取り組みを行いました。

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
<b>2014 年（平成 26 年）</b>			
キャンプ招致 PR ブース出展	市内イベントに PR ブースを出展		町田市 (企画政策課)
	シバヒロオープニングイベント（町田シバヒロ）	2014 年 5 月 3 日 ・5 日	
	オクトーバーフェスト（町田シバヒロ）	2014 年 10 月 4 日	
	市民協働フェスティバル「第 8 回まちカフェ」（市庁舎）	2014 年 11 月 16 日	
	全日本大学サッカー選手権大会準々決勝（市立陸上競技場）	2014 年 12 月 16 日	
	ジャパンラグビートップリーグキャノンイーグルス戦（市立陸上競技場）	2014 年 12 月 28 日	
東京 1964 大会 50 周年記念 パネル展	生涯学習センター（8 月）、市庁舎イベントスタジオ前（10 月）及び第 41 回町田市障がい者スポーツ大会（11 月）で、東京都作成のパネル、東京 1964 大会聖火トーチ、大会ポスター等を展示	2014 年 8 月 12 日 ～18 日	町田市 (企画政策課)
		2014 年 10 月 6 日 ～17 日	
		2014 年 11 月 3 日	
FC 町田ゼルビア ホームゲーム マッチデーパート ナー	FC 町田ゼルビア公式戦の 1 日スポンサーとして、オリジナルコラボグッズ（クリアファイル）配付や元サッカー日本代表によるふれあいサッカー・トークショー、PR ブース設置、東京 1964 大会聖火トーチ、大会ポスター等展示などを実施	2014 年 11 月 2 日	町田市 (企画政策課・ スポーツ振興課) FC 町田ゼルビア
<b>2015 年（平成 27 年）</b>			
町田サッカー フェスティバル 2015	「町田サッカー協会 vs FC 町田ゼルビアレジェンド」の試合名を「オリンピック・パラリンピック等のキャンプ地招致マッチ」とし、ハーフタイムにピッチを一周してキャンプ招致横断幕で PR	2015 年 1 月 18 日	町田市 (企画政策課・ スポーツ振興課) 町田市サッカー協会

左：市庁舎での  
東京 1964 大会  
50 周年記念  
パネル展  
右：土佐礼子氏  
講演会  
「私とオリンピック」



取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
さがまち学生クラブ企画提案発表会	(公社) さがまちコンソーシアムのさがまち学生クラブによる、東京 2020 大会気運醸成の企画提案発表会をユニコムプラザさがみはらで開催	2015年 2月18日	さがまちコンソーシアム
原田宗彦氏講演会 「オリンピック・パラリンピック キャンプ地招致がもたらすもの」	町田市オリンピック・パラリンピック等キャンプ地招致推進市民会議の設置に向け、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の原田宗彦氏を講師に迎えて講演会を開催	2015年 3月20日	町田市 (企画政策課)
South Africa Month in MACHIDA	南アフリカのスーパーラグビー所属チーム「ブルー・ブルズ」町田市遠征を記念して南アフリカ関連事業を実施		
	市立小中学校で南アフリカ料理の給食を提供	2015年 7月13日 ほか	町田市 (小中学校)
	市立中央図書館に南アフリカ関連書籍特設コーナーを設置	2015年 7月10日 ～8月12日	町田市 (図書館)
	映画「インビクタス」無料上映会を開催(町田市民フォーラム・和光大学ポプリホール鶴川)	2015年 7月18日 ・23日	町田市 (スポーツ振興課)
自由研究おうえんプロジェクト	「オリンピックを調べよう」をテーマに、オリンピックの歴史、競技、選手、町田市のアスリート情報、東京オリンピックキャンプ地招致等のパネルを展示	2015年 7月21日 ～8月 7日	町田市 (スポーツ振興課)
ブルー・ブルズ ウェルカムパーティ	ブルー・ブルズの来日に際し、同チームやキャノンイーグルスの選手スタッフ、南アフリカ大使館等関係者を迎えて歓迎会を開催、市内団体による日本文化(琴・茶道)や演武(なぎなた・少林寺拳法・剣道)、お囃子等によるおもてなしを実施	2015年 7月26日	主催: 町田ワールドマッチ ラグビー実行委員会 協力: 町田市文化協会 町田市体育協会 三ツ目囃子振興会 町田市国際交流センター等
町田ワールドマッチ ラグビー2015 Blue Bulls Machida Tour	ブルー・ブルズと町田市のホームタウンチーム(当時) キャノンイーグルスが市立陸上競技場で国際親善試合を開催、会場周辺では南アフリカの物産販売、パフォーマンス披露など南アフリカ体験イベントも併催	2015年 7月31日	主催: 関東ラグビー フットボール協会 主管: 町田ワールドマッチ ラグビー実行委員会 後援: 東京都 町田市 南アフリカ大使館、キャノン株
土佐礼子氏講演会 「私とオリンピック」	町田市ゆかりのオリンピックである土佐礼子氏を講師に迎えて講演会を開催、土佐氏の講話後に玉川大学教育学部川崎教授とのトークショーも開催	2015年 12月 4日	町田市 (スポーツ振興課) 町田市オリンピック パラリンピック等キャンプ地 招致推進市民会議

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
東京都パラリンピック 体験プログラム NO LIMITS CHALLENGE	第 43 回こどもマラソン大会会場で、車いすテニスと射撃（ビームライフル）体験会やパネル展示、動画放映を実施	2015 年 12 月 5 日	東京都 協力：町田市こどもマラソン実行委員会
<b>2016 年（平成 28 年）</b>			
石川信介選手・ 鹿沼由理恵選手 講演会	リオ 2016 パラリンピック日本代表候補の石川信介選手（視覚障がい柔道 100kg 級）、鹿沼由理恵選手（自転車競技タンデム）を講師に迎えて講演会を開催	2016 年 5 月 22 日	町田市 （生涯学習センター）
マレーシア男子 サッカーU22 代表 町田市遠征受入れ	町田市初となる海外サッカーチームのキャンプ受入れを実施（練習会場：市立陸上競技場）、6 月 20 日には FC 町田ゼルビアとのトレーニングマッチを無料公開で実施	2016 年 6 月 19 日 ～20 日	町田市 （スポーツ振興課） 協力：FC 町田ゼルビア
Nelson Mandela Month 2016 in Machida	南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領の誕生日である 7 月に、南アフリカ関連事業を実施		
	南アフリカ共和国ベリル・ローズ・シスル駐日特命全権大使が町田市を訪問、薬師池公園では文化交流（茶道）を実施、大使が訪問した町田第四小学校では南アフリカ体験授業と南アフリカ料理の学校給食を実施	2016 年 7 月 1 日	町田市 （スポーツ振興課） 南アフリカ大使館 町田第四小
	「みんな集まれ！シバヒロ夏祭り」に南アフリカ PR ブースを出展	2016 年 7 月 16 日 ～18 日	町田市 （スポーツ振興課）
	町田ダリア園で南アフリカ共和国ベリル・ローズ・シスル駐日特命全権大使らとともにネルソン・マンデラ国際デー「67 分間の奉仕活動」を実施	2016 年 7 月 18 日	町田市 （スポーツ振興課） 南アフリカ大使館 まちだ育成会かがやき
	子どもセンターまあちで南アフリカフード親善大使石川邦彦氏を講師に子ども向け南アフリカ料理教室を開催	2016 年 7 月 25 日	町田市 （子どもセンター）
	小田急百貨店町田店で南アフリカワインフェア開催	2016 年 6 月 29 日 ～7 月 5 日	小田急百貨店 町田店
	ゼルビア×キッチンがメニューとして南アフリカ料理を提供	2016 年 7 月 1 日 ～7 月 31 日	ゼルビア×キッチン
町田から世界へ！ リオ出場アスリート 壮行会	リオ 2016 大会に出場する町田市出身アスリート 4 選手のうち、内山由綺選手（体操）、鹿沼由理恵選手（パラ自転車）をお招きし、ぽっぽ町田前広場で壮行会を開催	2016 年 7 月 16 日	町田市 （スポーツ振興課） 町田第二中 南中

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
リオ 2016 大会 パブリックビュー イング	リオ 2016 大会に出場する関根花観選手(陸上女子 1 万 m 決勝 / 8 月 12 日)、大迫傑選手(陸上男子 1 万 m 決勝 / 8 月 14 日)を応援するため、和光大学ポプリホール鶴川でパブリックビューイングを開催	2016 年 8 月 12 日 ・14 日	町田市 (スポーツ振興課)
町田から世界へ！ リオ五輪出場アス リート地元報告会	ザ・フェスタ栄通り会場内ステージで、リオ 2016 大会の出場した関根花観選手、内山由綺選手の大会報告会を開催、報告会后、関根選手、内山選手はパレードに参加	2016 年 9 月 4 日	町田市 (スポーツ振興課) 金井小・南第四小 協力：ザ・フェスタ 栄通り実行委員会
鹿沼由理恵選手 市民栄誉彰贈呈式 及び銀メダル報告 会	鹿沼由理恵選手の市民栄誉彰受賞とリオ 2016 大会での銀メダル獲得を祝して、市庁舎ワンストップロビーで贈呈式及び報告会を開催	2016 年 10 月 21 日	町田市 (スポーツ振興課)
ベトナム競泳代表 強化合宿受入れ	ベトナム競泳代表 1 名が市内で強化合宿を実施(練習会場：市立室内プールほか、宿泊施設：桜美林大学第二国際寮)	2016 年 10 月 24 日 ～28 日	町田市 (スポーツ振興課) 協力：桜美林大学
ブラインドサッカ ードリームマッチ 2016	市立総合体育館で全国のクラブチームから選出された選手及びスタッフが EAST チーム・WEST チームに分かれて対決、試合前には小学生向けのブラインドサッカー体験会を実施	2016 年 11 月 5 日	主催：NPO 法人日本 ブラインドサッカー協会 後援：町田市 相模原市 協力：ASV パスカドーラ町田 町田サッカー協会ほか
<b>2017 年 (平成 29 年)</b>			
東京 2020 オリン ピック・パラリン ピック フラッグツアー 歓迎セレモニー	アンバサダー(城島茂氏・山田拓朗氏)から町田市への東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグ受渡式を開催後、カリヨン広場からぼっぼ町田まで市ゆかりのアスリート(海淵萌選手・鹿沼由理恵選手)とともにパレード、式典前には町田シバヒロでフラッグ到着を祝うイベントを開催、16～20 日市庁舎でフラッグを展示	2017 年 1 月 14 日  (市庁舎での展示) 2017 年 1 月 16 日 ～20 日	主催：東京都・組織委員会 ・日本オリンピック委員会 ・日本障がい者スポーツ協会 日本パラリンピック委員会 共催：町田市 協力：町田市中心市街地 活性化協議会 桜美林高校 玉川大学 町田琉 そっこん町田 98

左：町田から世界へ！  
リオ五輪出場  
アスリート地元  
報告会

右：東京 2020  
オリンピック・  
パラリンピック  
フラッグツアー  
歓迎セレモニー



取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
インドネシアと日本のパラバドミントン代表合同強化合宿	市立総合体育館で合同強化合宿を実施。市庁舎及び南成瀬中での歓迎イベント（27日）や市内中学生へのバドミントンクリニック（28日）、小学生練習見学による選手との交流を実施	2017年 1月27日 ～2月2日	日本障がい者バドミントン連盟 協力：町田市バドミントン連盟 南成瀬中 町田第一中 町田第二中 つくし野中 南第二小 南成瀬小
トライ・スポーツ！まちだ 2017	市立総合体育館でパラスポーツ体験イベント（ブラインドサッカー、シッティングバレー、車いすバスケットボール）やパラアスリート（葭原慈男氏、豊田まみ子氏、鹿沼由理恵氏、湯浅剛氏）によるトークショー&デモンストレーションを開催	2017年 2月11日	主催：町田市（スポーツ振興課） スポーツ町田 協力：日本ブラインドサッカー協会 日本障がい者バドミントン連盟 NPO 法人パラキャン NPO 法人町田フレンズサポート
都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト	東京 2020 大会のメダル制作のため、使用済携帯電話等小型家電の回収を呼びかけたプロジェクト、町田市を含む全国的な取り組みの結果、金銀銅合わせて約 5000 個のメダルに必要な金属量の回収を達成（町田市でも約 49 トンの小型家電等を回収）	2017年 4月1日 ～2019年 3月31日	町田市 （3R 推進課） 東京 2020 組織委員会
パラバドミントン日本代表強化合宿	市立総合体育館で計 37 名の選手（立位 15 名・車いす 22 名）が座学講義及び実技トレーニング（公開練習見学あり）等による強化合宿を実施	2017年 4月15日 ～17日	日本障がい者バドミントン連盟 協力：NPO 法人町田 ハンディキャブ友の会
東京 2020 大会等 気運醸成 PR	生涯学習センターで「LET'S ENJOY パラスポーツの日～楽しもう！パラスポーツ～」と題してパラスポーツクイズラリーやポッチャ体験、鹿沼由理恵選手の自転車展示等を実施	2017年 8月25日	町田市 （生涯学習センター） 東京ガス神奈川西支店
	キラリ☆まちだ祭に東京 2020 大会 1000 日前を記念して、ホストタウン PR やラグビー体験のブースを出展	2017年 11月12日	町田市 （スポーツ振興課）
Nelson Mandela Month 2017 in Machida	南アフリカのネルソン・マンデラ元大統領の誕生日である 7 月に、南アフリカ関連事業を実施		
	子どもセンターで子ども向け南アフリカ料理教室やタグラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催	2017年 7月1日 ・9日・16日 ・22日・24日	町田市 （子どもセンター） 町田市ラグビー協会
	市庁舎イベントスタジオで「南アフリカを知ろう！～東京 2020 オリンピック・パラリンピック大会ホストタウン交流事業～」展を開催	2017年 7月3日 ～14日	町田市 （スポーツ振興課）

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
Nelson Mandela Month 2017 in Machida	中心市街地(ターミナルプラザ～町田シバヒロ)で南アフリカ大使館や市内事業者等とともにネルソン・マンデラ国際デー「67分間の奉仕活動」として清掃活動をまちだ〇ごと大作戦イベントとして実施、大使館関係者は町田第一小で南ア料理給食交流にも参加	2017年 7月18日	町田市 (広報課・スポーツ振興課) 南アフリカ大使館 町田商工会議所、町田青年会議所 町田法人会、町田市商店会連合会 町田市中心市街地活性化協議会 町田市中央地区商業振興対策協議会 町田第一小ほか
女子セブンズデイバロップメントスコッド合宿	市立陸上競技場で7人制ラグビー女子日本代表(サクラセブンズ)候補キャンプを実施、歓迎セレモニー(20日ベストウェスタンレンブラントホテル東京町田)や市内小学生へのラグビークリニック(22日)、練習見学会による選手との交流を実施	2017年 7月20日～23日	日本ラグビーフットボール協会 協力:町田市ラグビー協会、 町田商工会議所 原町田三丁目商店会 原町田四丁目商店会 鶴川中・玉川学園 町田ラグビースクール ゼルビアブルース・ぞっこん町田
ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会 2017	市立総合体育館で日本初となるパラバドミンントンの国際大会を開催、30ヶ国 205名の選手が参加、日本文化 PR ブース出展や通訳ボランティア派遣、小学生の学校観戦を実施	2017年 9月7日～10日	主催:日本障がい者バドミントン連盟 後援:町田市ほか 協力:日本バドミントン協会 町田市国際交流センター 町田市茶道協会、町田市華道協会 南第二小、大蔵小 南成瀬小、函師小
<b>2018年(平成30年)</b>			
インドネシア・日本・韓国のパラバドミントン代表合同強化合宿	市立総合体育館で合同強化合宿を実施、合宿前日(22日)には大蔵小でバドミントン体験会によるインドネシア選手との交流を実施し、選手団の一員として来日したインドネシアパラリンピック委員会セニ会長が市内施設や合宿の様子を視察	2018年 1月23日～26日	日本障がい者バドミントン連盟 協力:町田市バドミントン連盟 大蔵小



左: トライ・スポーツ! 2017 アスリートトークショー 中: 都市鉱山からつくる! みんなのメダルプロジェクト リサイクル回収ボックス  
右: きらり☆まちだ祭 東京 2020 オリンピック・パラリンピック 1000 日前 PR ブース

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
トライ・スポーツ！まちだ 2018	市立総合体育館でパラスポーツ体験イベント（ブラインドサッカー、パラバドミントン）やパラアスリート（大江守選手、渡辺敦也選手、鹿沼由理恵選手）等によるトークショーを開催	2018年 2月11日	主催：町田市（スポーツ振興課） スポーツ町田 協：日本ブラインドサッカー協会 日本障がい者バドミントン連盟
東京 2020 大会等 気運醸成 PR	市庁舎で「町田市とオリンピック・パラリンピック」展を開催	2018年 1月26日 ～31日	町田市（スポーツ振興課）
	東京 2020 大会等にちなんだ市庁舎ライトアップを水・金曜日のほか、カウントダウン節目（1年前、500日前など）に実施	2018年 5月25日 ほか	町田市（市有財産活用課）
	「東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー」の都内巡回の一環として市庁舎で東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグを展示	2018年 11月 5日 ～13日	町田市（オリパラ推進課） 東京都
	市民協働フェスティバル「第 12 回まちカフェ」に東京 2020 オリンピック 600 日前を記念して東京 1964 年大会の聖火トーチやポスターを展示	2018年 12月 2日	町田市（オリパラ推進課）
Nelson Mandela Month 2018 in Machida	南アフリカ共和国のホストタウンとして南アフリカ関連事業を 7 月を中心に実施		
	ネルソン・マンデラ生誕 100 周年を記念して写真家・澤野新一朗氏講演会「虹の国・南アフリカ共和国－神々の花園 地球上最大の野生の花畑に暮らして」を町田市文化プログラムとして開催	2018年 6月24日	町田市（オリパラ推進課） 南アフリカ大使館 南アフリカ観光局
	市庁舎食堂で南アフリカフェアとして南アフリカ料理メニューを提供	2018年 7月16日 ～18日	町田市（職員課）
	子どもセンターで子ども向け南アフリカ料理教室やラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催	2018年 7月16日 ・21日・22日 ・25日・29日	町田市（子どもセンター） 町田市ラグビー協会
	町田ダリア園で南アフリカ大使館サイレンス・ロモ駐日特命全権大使や同国出身のキャノンイーグルスコーチ等とネルソン・マンデラ国際デー「67 分間の奉仕活動」を実施、大使館関係者は町田第三小で南ア料理給食交流にも参加	2018年 7月18日	町田市（オリパラ推進課） 南アフリカ大使館 まちだ育成会かがやき キャノンイーグルス 町田第三小
ネルソン・マンデラ国際デーを記念して南アフリカ国旗カラーで市庁舎ライトアップを実施	2018年 7月18日	町田市（市有財産活用課）	

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
	ネルソン・マンデラ国際デーの趣旨を受けて市庁舎献血を実施	2018年 7月26日	町田市 (福祉総務課)
チャレンジマッスル 2018	市立総合体育館でパラスポーツ体験イベント(パラバドミントン、ブラインドサッカー、ポッチャ)を開催	2018年 8月 7日	スポーツ町田
ヒューリック・ダイハツ JAPAN パラバドミントン国際大会 2018	市立総合体育館で日本初となるパラバドミンントンの国際大会を開催、15ヶ国115名の選手が参加、日本文化PRブース出展や通訳ボランティア派遣、小学生の学校観戦を実施	2018年 9月26日 ～30日	主催：日本障がい者バドミントン連盟 後援：町田市ほか 協力：日本バドミントン協会 町田市国際交流センター 町田市茶道協会、町田市華道協会 南第二小、大蔵小 南成瀬小、函師小
ブラインドサッカーチャレンジカップ 2018	市立総合体育館で日本代表とアルゼンチン代表による国際親善試合を開催、試合前には小学生向けのブラインドサッカー体験会を実施	2018年 11月 4日	主催：NPO法人日本ブラインドサッカー協会 日本障がい者スポーツ協会 後援：町田市ほか
<b>2019年(平成31年)</b>			
東京2020大会等 気運醸成PR	市庁舎で「東京2020大会に向けて」展を開催、市ゆかりのアスリートやオリンピック自転車ロードレース等を紹介	2019年 1月28日 ～2月 8日	町田市 (オリパラ推進課)
	小山市民センターまつりで、オリンピック自転車ロードレースコース等を紹介	2019年 3月 2日	町田市 (オリパラ推進課) 小山市民センターまつり実行委員会
	2019 町田さくらまつり尾根緑道会場で自転車VR体験を実施	2019年 4月 6日 ・ 7日	町田市 (オリパラ推進課)
	第6回チャレンジ防災(都立小山内裏公園)で八王子市とともにオリンピック自転車ロードレースの紹介やミニクイズを実施	2019年 5月19日	町田市 (オリパラ推進課) 八王子市 チャレンジ防災実行委員会

左：東京2020  
オリンピック・パラリンピック  
フラッグツアー

右：澤野新一朗氏講演会  
「虹の国・南アフリカ共和国  
ー神々の花園 地球上最大の  
野生の花畑に暮らして」



取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
東京 2020 大会等 気運醸成 PR	とっておきの音楽祭 in Machida 2019 で大迫選手・関根選手への応援メッセージ募集やパラバドミントン車いす体験を実施	2019年 5月26日	町田市 (オリパラ推進課) とっておきの音楽祭 in MACHIDA 実行委員会
	堺市民センターまつりで、オリンピック自転車ロードレース PR と自転車ストロッカー体験を実施	2019年 7月6日	町田市 (オリパラ推進課) 堺市民センターまつり実行委員会
	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース PR 動画の完成を記念して、片山右京氏講演会と都内コース 8 市合同記者発表を開催	2019年 7月11日	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース 8 市合同連絡会 (府中市・調布市・三鷹市・小金井市・稲城市・多摩市・八王子市・町田市)
	「オリンピック・パラリンピックムーブメント展」として東京 1964 大会ゆかりのグッズやパネル、都内巡回中の東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグを市庁舎で展示	2019年 8月13日 ～23日	町田市 (オリパラ推進課) フォートキシモト 東京都
	小学校連合体育大会プレ大会に東京 2020 公式マスコット「ミライトワ・ソメイティ」が登場、ミニクイズや「パブリカ」のダンスを実施	2019年 10月18日	町田市 (オリパラ推進課) 町田市教育委員会 東京 2020 組織委員会
	鶴川市民センターまつりで、パラバドミントン車いす体験を実施	2019年 10月19日	町田市 (オリパラ推進課) 鶴川市民センターまつり実行委員会
	障がい者スポーツ大会でパラバドミントン車いす体験を実施	2019年 11月2日	町田市 (オリパラ推進課)
	第 14 回総合健康づくりフェアでパラバドミントン車いす体験を実施	2019年 11月10日	町田市 (オリパラ推進課)
	第 13 回まちカフェ!で事前キャンプ地 PR や東京 2020 大会クイズを実施、東京都パラリンピック体験プログラム NO LIMITS CHALLENGE (駒崎茂選手によるパラボート体験会、パラ陸上体験会) も同時開催	2019年 12月1日	町田市 (オリパラ推進課)
多摩境駅前テロ対策訓練に 2019 年 7 月のテストイベントの様子やオリンピック自転車ロードの紹介ブースを出展	2019年 12月8日	町田市 (オリパラ推進課)	
トライ・スポーツ! まちだ 2019	市立総合体育館でパラスポーツ体験イベント (ブラインドサッカー、パラバドミントン、ボッチャ) やパラアスリート (山崎悠麻選手、里見紗李奈選手、寺西一選手) 等によるトークショーを開催	2019年 2月11日	主催: 町田市 (オリパラ推進課) スポーツ町田 協力: 日本ブラインドサッカー協会 日本障がい者バドミントン連盟他

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
市内商店街等での東京 2020 大会うちわ配布	東京 2020 大会気運醸成のため、地域の団体や商店会等で大会公式エンブレム等を印刷したうちわを配布	2019年 6月1日 ～9月30日	町田商工会議所 東京商工会議所
Nelson Mandela Month 2019 in Machida	南アフリカのホストタウンとして南アフリカ関連事業を7月を中心に実施		
	子どもセンターで子ども向け南アフリカ料理教室やタグラグビー教室、国旗色塗りワークショップを開催	2019年 7月7日 ・20日・24日 ・25日・29日	町田市 (子どもセンター) 町田市ラグビー協会
	ネルソン・マンデラ国際デーを記念して南アフリカ国旗カラーで市庁舎ライトアップを実施	2019年 7月18日	町田市 (市有財産活用課)
	多摩境駅前以南アフリカ大使館や地元町内会・自治会、保育園等とネルソン・マンデラ国際デー「67分間の奉仕活動」を実施、大使館関係者は相原小で南ア料理給食交流にも参加	2019年 7月18日	町田市 (オリパラ推進課) 南アフリカ大使館 多摩境町内会・町有町内会・田端町内会 アバガーデンバレス多摩境自治会 ゼロワンシティ・ウエスタ自治会 グランレガーロクラブ サンフィール保育園・多摩境敬愛保育園 町田サレジオ幼稚園・相原小
自転車ロードレースを応援しよう!! 2019 in 町田 堺	「Ready SteadyTokyoー自転車ロード」の開催に合わせて、コース沿道の JA 町田市堺支店で、自転車競技の魅力を知るための講演会や野菜の販売、打ち水、サレジオ高専学生が企画デザインした自転車用マップの配布などの賑やかイベントを開催	2019年 7月21日	町田商工会議所堺支部 町田市農業協同組合堺支店 町田市観光コンベンション協会 協力：アレス商会、南大沢警察署 東京消防庁町田消防署 サレジオ工業高等専門学校
オリンピックマラソン日本代表選考レース MGC パブリックビューイング	「MGC (マラソン・グランド・チャンピオンシップ)」に出場する大迫傑選手、関根花観選手を応援するパブリックビューイングを市立陸上競技場で開催、会場内ではまだだ〇ごと大作戦「町田マラソン (いだてん) 応援プロジェクト」の「みんなでつなぐたすきリレー」も同時開催	2019年 9月15日	町田市 (オリパラ推進課) 町田走友会連盟 町田市陸上競技連盟 法政大学・国土大学・桜美林大学 青山学院大学・玉川大学 桜美林高校・日大三高

左：自転車ロードレースを  
応援しよう!! 2019  
in 町田 堺

右：オリンピックマラソン日本代表  
選考レース MGC  
パブリックビューイング  
・町田マラソン (いだてん)  
応援プロジェクト



取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
Machida×South Africa 1枚の写真を通じて繋がるまちだと南アフリカの風景・人がクロスするアート写真展	玉川学園高等部の生徒が町田市と南アフリカで写真を撮影し、2枚の写真を多重露光により重ねた作品を制作、市民病院（9月）と市庁舎（10月）で写真展を開催	2019年 9月24日 ・25日 10月1日 ～11日	町田市 （文化振興課） 玉川学園
町田わくわくスタンプラリー	市内商店会活性化のためスタンプラリーを実施、南アフリカ産ワインやインドネシア産コーヒーを抽選でプレゼント	2019年 11月1日 ～12月31日	町田市商店会連 合会
ブラインドサッカーチャレンジカップ2019	市立総合体育館で日本代表とモロッコ代表による国際親善試合を開催、試合前には小学生向けのブラインドサッカー体験会を実施	2019年 12月8日	主催：NPO法人日本 ブラインドサッカー協会 日本障がい者スポーツ協会 後援：町田市ほか
<b>2020年（令和2年）</b>			
商店街への東京2020大会フラッグ掲出	市内12の商店会で東京2020大会デザインのフラッグを掲出	2020年 1月15日 ～2021年 9月5日	町田市商店会 連合会
三島由紀夫展— 「肉体」という second language	1964年の東京オリンピックで新聞社の特派記者として開会式や各競技のレポートを書いた三島由紀夫を取り上げた展覧会を町田市民文学館ことばらんどで開催	2020年 1月18日 ～3月1日	町田市 （町田市民文学館）
TAMA サイクルフェスティバル	調布駅前広場で、自転車競技体験やアスリートトークショー、オリンピック自転車競技ロードレース都内コース8市のPRブースなどを実施、シネタス調布では、8市合同PR動画や劇場版「弱虫ペダル」を上映	2020年 1月25日	東京2020オリンピック自転車競技 ロードレース8市合同連絡会 （府中市・調布市・三鷹市・小金井市・ 稲城市・多摩市・八王子市・町田市）
アングルンワークショップ	インドネシアの竹楽器アングルンのワークショップを国際版画美術館講堂で実施	2020年 2月11日	町田市 （児童青少年課）
東京クロニクル1964-2020展—オリンピックと東京をめぐる創造力の半世紀—	東京1964大会開催から2020年までの〈東京〉を舞台とした文学作品や、漫画、グラフィック雑誌、記録写真、映像、美術作品など視覚的資料を通じて、〈東京〉のイメージの変遷を探った展覧会を町田市民文学館ことばらんどで開催、市ゆかりのアスリートを写真パネルで紹介する「Road To Tokyo 2020—東京オリンピック・パラリンピック記念写真展」も同時開催（～8月30日）	2020年 6月9日 ～8月10日	町田市 （図書館）

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
インプリントまちだ展 2020 すむひと⇔くるひと「アーティスト」がみた町田	インドネシアの若手アーティスト、アグン・プラボウォ氏を招聘、代表作と町田を取材した新作を発表、9月5・6日にはインドネシアフェアを開催、来館者サービスとして、町田駅とのシャトルバスを運行	2020年 6月9日 ～9月13日	町田市 (国際版画美術館)
プロチーム選手と東京 2020 大会ロードレースコースを巡ろう	ロードレースのコースと観光要素を組み合わせたコースを巡りながら、競技の魅力や競技の装備について学ぶイベントを稲城市、多摩市、町田市の3市合同で実施 (2019年11月17日にも実施)	2020年 11月1日	南多摩3市観光 推進協議会
<b>2021年(令和3年)</b>			
東京 2020 公式アートポスター展	東京オリンピック・パラリンピック応援企画として、東京 2020 の公式アートポスターを町田市民文学館ことばらんどで展示	2021年 6月29日 ～9月5日	町田市 (町田市民文学館)
自転車ロードレース応援イベント事業	地元の事業者や町内会・自治会等で設立した実行委員会が、東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース当日に、コース沿道の JA 町田市堺支店で応援イベント、小山白山公園で「ウェルカム Tokyo イベント「町田 堺の大祝宴」」の開催を目指して準備、新型コロナウイルスの影響により中止となったが、配付予定だった応援グッズ(サレジオ工業高等専門学校デザイン)を、地元町内会・自治会、商店会、市民センターや多摩境駅等で配布	2021年 7月5日 ～25日	東京 2020 オリンピック自転車競技ロードレース応援イベント 実行委員会
チャレンジマッスル 2021	東京 2020 大会開催にちなんで、市立総合体育館に障がい者スポーツ普及プロジェクトのブースを設け、ブラインドタッチ体験や車いす 10mトライアルを実施	2021年 8月3日	スポーツでつなぐ まちだパートナーズ
中央図書館への心のバリアフリー特集コーナーの設置	東京 2020 大会に向けて、「心のバリアフリー(障がい者・高齢者等の理解)」や「ユニバーサルデザイン」をテーマに関連書籍を設置(2019年8月9日～9月11日、2020年7月10日～8月12日にも実施)	2021年 8月13日 ～9月8日	町田市 (福祉総務課)
パラリンピック選手応援イベント 「水田光夏選手を応援しよう!!」	子どもセンターまあち来館者による応援メッセージを寄せ書きにした横断幕作成や市ゆかりのアスリートを紹介する資料・動画などを子どもセンターまあちに展示	2021年 8月2日 ～9月5日	町田市 (児童青少年課)

取組名	概要等	実施期間	主催・協力等
中垣ゆたか『宇宙オリンピック』絵本原画ミニ展示	東京 2020 大会開催を記念して、市内在住絵本作家・中垣ゆたかさんの絵本『宇宙オリンピック』（くもん出版 2019 年）の原画を町田市民文学館ことばらんどで展示	2021 年 9 月 7 日 ～ 10 月 31 日	町田市 (町田市民文学館)
図書館 特集コーナー設置  ※都立公立図書館共通テーマ展示「東京でおもてなし～57 年ぶりの夢～」実施への協力展示（2018・2019 年度にも実施）	東京 2020 大会やスポーツ、おもてなしなど、各館がテーマに合わせた特集コーナーを設置		
	東京 2020 オリンピック・パラリンピック特集、スポーツ小説ふたたび (中央図書館)	2021 年 7 月 9 日 ～8 月 11 日	町田市 (図書館)
	東京でおもてなし～スポーツ&日本文化のおもてなし～(さるびあ図書館)	2021 年 7 月 9 日 ～8 月 11 日	
	オリンピック、パラリンピック、日本の文化を楽しむ(鶴川図書館)	2021 年 8 月 1 日 ～8 月 31 日	
	オリンピック、パラリンピック、東京でおもてなし～57 年ぶりの夢～ (金森図書館)	2021 年 7 月 9 日 ～8 月 11 日	
	おかえり東京オリンピック・パラリンピック～思い出は何かと紐づいている～ 1964 あなたは何で思い出しますか？(木曾山崎図書館)	2021 年 7 月 9 日 ～8 月 1 日	
	東京オリンピック・パラリンピック町田市ホストタウン特集(堺図書館) ※7 月 16 日～9 月 5 日には、地元写真家撮影の 1964 年聖火リレー写真 13 枚も掲示	2021 年 8 月 13 日 ～9 月 8 日	
	あのくに このくに どんなくに (国際理解)(鶴川駅前図書館)	2021 年 6 月 11 日 ～7 月 7 日	
	インドネシア・南アフリカ(町田市ホストタウン)(鶴川駅前図書館)	2021 年 7 月 6 日 ～8 月 11 日	
	プラネタリウム・ガムラン音楽(鶴川駅前図書館) ※8 月 24 日「インドネシアガムラン×星空コンサート」連動企画	2021 年 8 月 13 日 ～23 日	
	日本文化とおもてなしの心 (忠生図書館)	2021 年 7 月 8 日 ～8 月 11 日	
スポーツ(オリンピック)(忠生図書館)	2021 年 7 月 8 日 ～8 月 9 日		

※ 表で紹介したほかにも、市立小中学校では「ボランティアマインド」「障がい者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の 5 つの資質をはぐくむとともに、共生・共助社会の実現を目指して、オリンピック・パラリンピック教育に取り組みました。



発行日	2022年3月
発行	町田市文化スポーツ振興部 オリンピック・パラリンピック等国際大会推進課
業務引継部署	スポーツ振興課 町田市森野2-2-22 電話 042-724-4036
刊行物番号	21-83
印刷者名	八昭印刷(株)

